本文

官報　第八千百六號　明治四十三年六月三十日　木曜日　印刷局

○勅令

朕統監府警察官署官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十三年六月二十九日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎
陸軍大臣　子爵寺内正毅

勅令第二百九十六號

統監府警察官署官制

第一條　統監府警察官署ハ統監ノ管理ニ屬シ韓國ニ於ケル警察事務ヲ掌ル

第二條　統監府警察官署ハ警務總監部警務部及警察署トス

第三條　警務總監部ハ之ヲ京城ニ置ク韓國ニ於ケル警察事務ヲ總理シ兼ネテ皇宮及京城ノ警察事務ヲ掌ル

第四條　警務部ハ之ヲ各道ニ置ク道内ノ警察事務及管内警察署ノ監督ヲ掌ル

警察署ハ必要ノ地ニ之ヲ置ク管内ノ警察事務ヲ掌ル

警務部及警察署ノ位置及管轄區域ハ統監之ヲ定ム

第五條　統監府警察官署ニ左ノ職員ヲ置ク

警務總長	警務官	專任　二　人	勅任
	警務部長	專任　五十二人	奏任（内一人ヲ勅任トスコトヲ得）
	警視	專任	奏任
	警察署長	專任　三　人	奏任
	通譯官	專任　一　人	奏任
	技師		
	警察醫	專任　六十八人	奏任又ハ判任
	屬	專任　三百五十七人	判任
	警部		
	技手		
	通譯生		

第六條　警務總長ハ韓國駐箚憲兵ノ長タル陸軍將官ヲ以テ之ニ充ツ

警務總長ハ警務總監部ノ長ト爲リ統監ノ命ヲ承ケ部務ヲ總理シ警察官署ノ職員ヲ指揮監督ス

第七條　警務官ハ上官ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌ル

第八條　警務部長ハ各道憲兵ノ長タル憲兵佐官ヲ以テ之ニ充ツ警務總長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理シ部下ノ職員及管内警察署ノ職員ヲ指揮監督ス

第九條　警務總長ハ京城ニ、警務部長ハ其ノ管内ニ效力ヲ有スル命令ヲ各其ノ職權又ハ委任ニ依リ發スルコトヲ得

第十條　警察署長ハ警視又ハ警部ヲ以テ之ニ充ツ上官ノ命ヲ承ケ署務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第十一條　警視ハ上官ノ命ヲ承ケ警察事務ヲ掌リ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第十二條　通譯官ハ上官ノ命ヲ承ケ翻譯及通譯ヲ掌ル

第十三條　技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十四條　警察醫ハ上官ノ命ヲ承ケ警察ニ關スル醫務ヲ掌ル

第十五條　屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

警部ハ上官ノ指揮ヲ承ケ警察事務ニ從事シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

通譯生ハ上官ノ指揮ヲ承ケ翻譯及通譯ニ從事ス

第十六條　警察官署ニ巡査及巡査補ヲ置ク巡査ハ判任官ノ待遇トシ巡査補ノ取扱ハ憲兵補助員ニ準ス

巡査及巡査補ニ關スル規定ハ統監之ヲ定ム

附　則

本令ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

統監府司法警察官官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ統監府警視又ハ警部ノ職ニ在ル者ハ同官等俸給ヲ以テ統監府警視又ハ警部ニ任セラレタルモノトス

本文
第81006号

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府警務總長及警務部長ノ發スル命令ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十三年六月二十九日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎

勅令第二百九十七號

統監府警務總長及統監府警務部長ハ其ノ發スル命令ニ拘留又ハ科料ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

附則

本令ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十三年六月二十九日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎

勅令第二百九十八號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

第八條中「統監府司法廳參事官」ノ次ニ「統監府警務官」ヲ加フ

第十四條中「統監府司法廳書記官」ノ次ニ「統監府警務官」ヲ加フ

第二十一條中「商船學校教諭」ノ次ニ「統監府通譯官（警察官署副務ノ者）」及「統監府警察署」ヲ加フ

第一表中統監府ノ部「司法廳參事官」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

警務官	

附則

本令ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕統監府警察官署職員ノ俸給等ノ支給ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十三年六月二十九日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎

勅令第二百九十九號

統監府警察官署職員ノ俸給ハ其ノ支給ヲ停止シ其ノ他ノ給與ハ之ヲ支給セス

附則

本令ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府警察官署職員ノ官等等級ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十三年六月二十九日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎

勅令第三百號

憲兵將校又ハ憲兵准士官下士ニシテ統監府警察官署職員タル者ノ官等又ハ等級ハ武官ノ官等又ハ等級ニ依ル

附則

本令ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕明治四十年勅令第三百二十三號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十三年六月二十九日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎
陸軍大臣　子爵寺内正毅

勅令第三百一號

明治四十年勅令第三百二十三號中左ノ通改正ス

第四條ノ二　憲兵隊ニ憲兵補助員ヲ附屬ス憲兵補助員ノ取扱ハ陸軍一二等卒ニ準ス

憲兵補助員ニ關スル規程ハ統監之ヲ定ム

附則

本令ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府警務總長、警務部長、警視、警部ノ任用及分限ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十三年六月二十九日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎

勅令第三百二號

統監府警視ハ五年以上警察事務ニ從事シ判任官五級俸以上ノ職ニ在ル者ノ中ヨリ文官高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

附則

本令ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

統監府警部ノ任用ニ關シテハ警部消防士特別任用令ヲ準用ス但シ考試委員、考査ノ方法及試驗ノ科目ハ統監之ヲ定ム

韓國ニ在勤スル憲兵將校ハ統監府警務總長、警務部長又ハ警視ニ憲兵准士官下士ハ統監府警部ニ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ任用セラレタル者韓國ニ於ケル憲兵ノ勤務ナキニ至リタルトキハ當然其ノ官ヲ免セラレタルモノトス

附則

本令ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年勅令第二百五十八號ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ韓國ノ警視、警部又ハ內部警務局ノ主事ノ職ニ在ル者ハ本令施行ノ際ニ限リ特ニ警視ハ統監府警視ニ、警部ハ統監府警部ニ、主事ハ統監府警察官署ノ屬ニ之ヲ任用スルコトヲ得

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府警察官署ノ職員タル韓國人ノ任用分限及給與ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十三年六月二十九日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎

勅令第三百三號

第一條　左ニ掲クル韓國人ハ文官高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ統監府警務官又ハ統監府警視ニ任用スルコトヲ得

一　帝國大學、專門學校又ハ韓國ノ官立學校ニ於テ三學年以上法律學科ヲ修メタル者

二　五年以上韓國ノ警察事務ニ從事シ現ニ韓國ノ判任官五級俸以上ノ職ニ在ル者

第二條　韓國ノ法規ニ依リ一般ノ判任文官タル資格ヲ有スル韓國人ハ文官普通試驗委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ統監府警察官署ノ屬又ハ警部ニ任用スルコトヲ得

第三條　韓國人タル官吏ニ關シテハ文官分限令ヲ適用セス

第四條　韓國人タル官吏ニ對スル給與ハ別表ニ依リ其ノ官等ハ日本人ノ例ニ依ル

第五條　韓國人タル官吏ノ旅費ニ關スル規程ハ統監之ヲ定ム

官報 8106 号

附則

本令ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際韓國警察官ノ職ニ在ル韓國人ハ本令施行ノ際ニ限リ警視副監ハ統監府警務官ニ、警視ハ統監府警視ニ、警部ハ統監府警部ニ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ高等官官等俸給令第四條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

（別表）

高等官年俸表

一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級
一、八〇〇圓	一、六〇〇圓	一、四〇〇圓	一、二〇〇圓	一、〇〇〇圓	九〇〇圓	八〇〇圓	七〇〇圓	六〇〇圓	五〇〇圓

判任官月俸表

一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級
五〇圓	四五圓	四〇圓	三五圓	三〇圓	二五圓	二〇圓	一五圓	一二圓	一〇圓

○省令

文部省令第十八號

圖書館令施行規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治四十三年六月三十日　文部大臣　小松原英太郎

圖書館令施行規則

第一條　圖書館令第五條ニ依リ公立圖書館ヲ設置セントスルトキハ管理者ヨリ左ノ事項ヲ具シ道府縣立圖書館ニ在リテハ文部大臣、其ノ他ノ公立圖書館ニ在リテハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

一　名稱
二　位置
三　經費及維持ノ方法
四　敷地建物ノ坪數及圖面
五　開館年月日
六　館則

私立圖書館ニ在リテハ設立者ヨリ前項ノ事項ヲ地方長官ニ開申スヘシ

第二條　名稱、位置、敷地、建物又ハ館則ノ變更ハ道府縣立圖書館ニ在リテハ文部大臣ニ其ノ他ノ圖書館ニ在リテハ地方長官ニ開申スヘシ

第三條　道府縣立圖書館ノ經費豫算ハ文部大臣ニ其ノ他ノ公立圖書館ノ經費豫算ハ地方長官ニ毎會計年度開始前ニ開申スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年文部省令第十九號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○達

陸達第二十九號

砲臺監守服務規則中左ノ通改正ス

明治四十三年六月三十日　陸軍大臣　子爵寺内正毅

第一條中「附屬營造物」ノ下ニ「竝其ノ敷地」ヲ加フ

第二條中「工兵器具材料」ノ下ニ「竝堡壘砲臺附屬營造物ノ敷地」ヲ加フ

○告示

鐵道院告示第六十四號

明治三十四年一月遞信省告示第三十七號鐵道作業局大貨物運賃手數料及等級表中左ノ通追加シ明治四十三年七月十五日ヨリ施行ス

明治四十三年六月三十日　鐵道院總裁　男爵後藤新平

一大貨物運賃ノ部級外品第三種車輛類中小兒用車ノ次ニ左ノ通追加ス

自動自轉車（モートル）　一車一哩ニ付　金貳錢五厘
自動車　同　金拾五錢
一同上發著手數料ノ部級外品第三種車輛類中小兒用車ノ次ニ左ノ通追加ス
自動自轉車（モートル）　一車ニ付（發著各）　金貳錢
自動車　同（同）　金五拾錢

鐵道院告示第六十五號

明治三十七年十二月遞信省告示第四百八十八號託送手荷物、小荷物、死體、貴重品、小動物ノ運賃、保管料及其取扱手續中左ノ通改正シ明治四十三年七月十五日ヨリ施行ス

明治四十三年六月三十日　鐵道院總裁　男爵後藤新平

一第十一條本文中人力車ノ前ニ「自動自轉車（モートル）」ヲ追加シ同條記載ノ賃金ヲ左ノ通改正ス

	一哩ニ付 最低運賃
馬車	金貳拾錢
自動車	金四圓
自動自轉車（モートル）	金參錢
人力車	金六拾錢
自轉車	金貳錢
商品運搬車	金四拾錢
小兒車	金貳錢
	金貳拾錢

一第二十四條第四號中「人力車」ノ前ニ「自動自轉車（モートル）」ヲ追加ス

内務省告示第九十五號

明治四十三年六月二十八日青森縣下ニ於テ發行スル奥南新報第二百九十二號ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルヲ以テ新聞紙法第二十三條ニ依リ同年同月二十九日其ノ發賣及頒布ヲ禁止之ヲ差押フ

明治四十三年六月三十日　内務大臣　法學博士男爵平田東助

陸軍省告示第十七號

臨時陸軍建築部廣島支部福山出張所ハ之ヲ閉鎖ス

明治四十三年六月三十日　陸軍大臣　子爵寺内正毅

海軍省告示第十四號

本年海軍省告示第二號及第九號海軍兵學校生徒志願者身體檢査及學術試驗施行地名中「高知市」ヲ「高知縣土佐郡小高坂村」ニ變更ス

明治四十三年六月三十日　海軍大臣　男爵齋藤實

農商務省告示第三百二十一號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十三年六月三十日　農商務大臣　小松原英太郎

字	地番	面積	所有者			
廣島縣沼隈郡山波村						
小迫山	五〇八	一、〇〇〇歩	同	三三五ノ一	高垣	七松
濱田倉ノ内	三七四ノ一	四四一六	三浦 喜平	三三五ノ二	畝濱	石松
		一七二四	岡田 留吉	二九七ノ三	二〇〇六	島田 富太郎

農商務省告示第三百二十二號

森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ廣島縣知事ニ於テ告示シタル左記保安林ハ之ヲ解除セス

明治四十三年六月三十日　農商務大臣　小松原英太郎

縣	郡	村	字	地番	面積
廣島	沼隈	西	大字 — 字大寺	法六二一	九〇二一
					七八〇七歩

遞信省告示第七百四十號

明治四十二年七月遞信省告示第六百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限中「自露」ノ項第一節ヲ削除ス

明治四十三年六月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

遞信省告示第七百四十一號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ來七月一日ヨリ施行ス

明治四十三年六月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

加入區域外通話區域　青木屋代間　一通話ノ通常電話料　金十五錢

遞信省告示第七百四十二號

來七月一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月遞信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十三年六月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
茅野郵便局	長野縣諏訪郡宮川村

遞信省告示第七百四十三號

明治四十一年九月遞信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

明治四十三年六月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

監督局　開設局　加入區域

長野縣諏訪郡宮川村　長野　茅野　字茅野、同中河原、同安國寺（小町屋ヲ除ク）、同茅野ノ内西茅野（坂室、高道ヲ除ク）、同新井ノ内上新井、字檀内、同鰐原（山ノ根ヲ除ク）、同矢ケ崎（鬼場ヲ除ク）

永明村

遞信省告示第七百四十四號

明治三十年十二月遞信省告示第三百五十七號中德島局電話加入區域ニ左ノ通追加シ來七月一日ヨリ施行ス

明治四十三年六月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

特別加入區域

「德島縣名東郡加茂名村大字庄村」ノ下ニ、同島田字東分、同本願寺裏、同下鮎喰筋、同中鮎喰筋

遞信省告示第七百四十五號

無集配三等郵便局ニ於テハ別ニ告示スルモノヲ除クノ外外國郵便物中小包郵便物、價格表記箱物竝代金引換ノ書留通常郵便物及價格表記書狀ノ取扱ヲ爲サス

明治四十年九月遞信省告示第五百六十五號ハ之ヲ廢止ス

明治四十三年六月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

遞信省告示第七百四十六號

來七月一日ヨリ帝國ホテル内郵便局ニ於テ外國宛小包郵便物、價格表記箱物竝代金引換ノ書留通常郵便物及價格表記書狀ノ取扱ヲ開始ス

明治四十三年六月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

第8106号

○敍任及辭令

○明治四十三年六月二十九日

陞敍高等官四等　帝室林野管理局主事正六位勳五等　北村誠太郎
陞敍高等官四等　帝室林野管理局主事正六位勳六等　佐々木和策
陞敍高等官四等　帝室林野管理局主事正六位勳六等　鹽澤　健
任海軍造船中技士　池田　晴一
任海軍造兵中技士　吉川　晴十
任海軍造兵中技士　武石　太郎
任海軍造兵中技士　石川福三郎
陞敍高等官五等　理事廳副理事官正七位勳六等　木木　房吉
陞敍高等官五等　統監府警視正七位勳六等　陣　軍吉
陞敍高等官六等　統監府警視從七位勳七等　坂東榮次郎
任福井縣南條郡長　福井縣足羽郡長從七位　東　忠藏
敍高等官七等　福井縣屬勳八等　鷲田又兵衛
任福井縣足羽郡長　宮崎縣西諸縣郡長正七位　山內卯太郎
敍高等官八等　宮崎縣兒湯郡長　岩手　千秋
任宮崎縣西諸縣郡長　宮崎縣西臼杵郡長正八位勳八等　岡田　純夫
敍高等官五等　新潟縣屬勳七等
任宮崎縣西諸縣郡長　陸軍軍醫總監醫學博士男爵　小池　正直
敍高等官七等　陸軍少將　小島　好問
任宮崎縣西臼杵郡長　陸軍主計監　蓮藤　愼司
敍高等官八等　陸軍主計監　青柳　忠次
陸軍主計監　前田　政四郎
陸軍軍醫監　中目　成一

（各通）

從三位勳二等醫學博士　大澤　謙二
正四位勳二等理學博士　寺尾　壽
正四位勳三等理學博士　松村　任三
正四位勳三等文學博士　井上哲次郎
從四位勳三等法學博士　金井　延
從四位勳三等　後藤　牧太
從四位勳三等文學博士　中島力造
從四位勳三等男爵　神田乃武
從四位勳四等理學博士　三好學
從四位勳三等理學博士　神保　小虎
從四位勳四等　野口　保興
正五位勳四等農學博士　横井　時敬
正五位勳四等　小島　憲之
正五位勳四等文學博士　箕作　元八
正五位勳五等　三守　守
正五位勳四等文學博士　芳賀　矢一
正五位勳四等文學博士　服部宇之吉
正五位勳四等文學博士　萩野　由之
正五位勳五等　坂井英太郎
正五位勳四等　千本　福隆
正五位勳五等文學博士　三宅　米吉
正五位勳六等理學博士　丘　淺次郎
正五位勳五等　篠田　利英
正五位勳四等　保田　據太
正五位勳五等　上原六四郎
正五位勳四等文學博士　白鳥　庫吉
從五位法學博士　美濃部達吉
從五位理學博士　渡瀨庄三郎
正五位勳六等　大瀨甚太郎
從五位　淺田　榮次
從五位勳六等　佐藤　傳藏
從五位勳五等　波多野貞之助
從五位勳六等　磯田　良
從五位勳六等　山口小太郎
從五位勳六等　山崎　直方
從五位　久米桂一郎
從五位　國枝　元治
從五位勳五等文學博士　市村瓚次郎
從五位　大森金五郎
從五位理學博士　高木　貞治
從五位勳六等　下野直太郎
從五位勳六等　島田　鈞一
從五位勳五等　松井　簡治
從五位　佐々木祐太郎
從五位勳六等理學博士　小川正孝
從五位　菊池　壽八
從五位　吉田　靜致
從五位勳六等　松原　行一
正六位　下田　次郎
正六位　杉　敏介
正六位勳六等理學博士　中村　清二
正六位勳六等　脇水鐵五郎

（各通）

豫備被仰付

從五位　小柳司氣太
正六位勳六等　熊澤鐵之介
正六位勳六等　鹿野清次郎
正六位勳六等　吉江　琢兒
正六位勳六等　森　岩太郎
正六位　佐方　ミヰ
正六位勳六等　後閑　菊野
正六位勳六等　岡田　正之
從六位　中川　銓吉
從六位　吉田　熊次
從六位　藤井健次郎
從六位　杉田　義雄
從六位　乙竹　岩造
從六位　島崎赤太郎
從六位　岡山　秀吉
從六位勳五等功五級　藥谷勇三郎
從六位勳五等功五級　榎　秀岳
正七位　井口ゐくり
正七位　永井　道明
正七位　荒木悌二郎
正七位　渡邊文三郎
從七位　今村ジュン
正八位　神田　順
正八位　楠美恩三郎
正八位勳七等　稻川　春

敎員檢定委員會臨時委員被仰付
御用有之白耳義國及埃洪國ヘ被差遣　東京帝國大學理科大學教授　長岡半太郎
御用有之白耳義國及獨逸國ヘ被差遣　東京帝國大學醫學博士　小金井良精
御用有之滿洲北清瓜哇及海峽殖民地ヘ被差遣　臺灣總督府技師　具室　幸敎
御用有之露領浦鹽斯德及滿洲ヘ被差遣　福井縣事務官　池松　時和
（各通）　宮崎縣兒湯郡長　中澤　弘恭
依願免本官（以上六月二十九日內閣）　小幡　忠滅
賜三級俸　帝室林野管理局技師　神足　勝記
帝室林野管理局技師　田町與三郎
帝室林野管理局技師　秋山　謙藏

（各通）

帝室林野管理局技師　和田國次郎
帝室林野管理局主事　北村誠太郎
帝室林野管理局主事　佐々木和策
帝室林野管理局主事　鹽澤　健
帝室林野管理局技師　赤浦　力次
帝室林野管理局技師　鹿討豐太郎
帝室林野管理局技師　小田切榮三郎

賜二級俸
（各通）
年俸千七百圓下賜
年俸千百圓下賜
帝室林野管理局技師　赤浦　力次
帝室林野管理局技師　鹿討豐太郎
帝室林野管理局技師　小田切榮三郎

（各通）

木年名古屋市ニ於テ開設ノ第十回關西府縣聯合共進會ニ所管御料林木材及製品等出陳ニ際シ擅ニ當初ノ計畫ヲ變更シ爲ニ豫算額ニ不足ヲ生シ事後ニ於テ增額ヲ申請スルニ至リタルハ其ノ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ宮內官懲戒令ニ依リ二箇月間俸給月割額十分ノ一ヲ減ス（以上六月九日宮內省）
韓國ヘ出張ヲ命ス
二級俸下賜　帝室林野管理局名古屋支廳長　和田國次郎
五級俸下賜　帝室林野管理局主事　北村誠太郎
六級俸下賜　帝室林野管理局主事　佐々木和策
二級俸下賜　帝室林野管理局主事　鹽澤　健
五級俸下賜　福井縣南條郡長　池松　時和
（各通）　福井縣足羽郡長　弘恭
宮崎縣兒湯郡長　小幡　忠滅
宮崎縣西諸縣郡長　山內卯太郎
宮崎縣西臼杵郡長　岩手　千秋
岡田　純夫
六級俸下賜（以上六月二十九日內務省）
茂木專賣支局在勤ヲ命ス　專賣局技師　福永榮太郎
熊本專賣支局在勤ヲ命ス　專賣局技師　松原　仙藏
鹿兒島專賣支局在勤ヲ命ス（以上六月二十九日大藏省）　專賣局技師　山下嘉之助
陸軍歩兵大佐　高木常之助
陸軍歩兵大佐　清水　金生
陸軍歩兵大佐　木村　拾馬
陸軍騎兵大佐　香月　三郎
陸軍歩兵中佐　宮崎　兼安
陸軍歩兵中佐　水野勝太郎
陸軍歩兵中佐　三好平二郎
陸軍歩兵中佐　喜入德之助
陸軍砲兵中佐　岸田　庄藏
陸軍歩兵少佐　長谷川武夫
陸軍歩兵少佐　齋藤臺三郎
陸軍歩兵少佐　川崎松太郎
陸軍騎兵少佐　千田　銳吉
陸軍歩兵大尉　山本　常藏
陸軍憲兵大尉　小高　宗平

第8106号

陸軍歩兵大尉　近藤義雄
陸軍歩兵大尉　佐藤保吉
陸軍歩兵大尉　池田隆
陸軍歩兵大尉　小關喜藏
陸軍歩兵大尉　神谷陽太郎
陸軍歩兵大尉　芦川駿遜
陸軍歩兵大尉　野津誠
陸軍歩兵大尉　吉川高光
陸軍歩兵大尉　成富米藏
陸軍歩兵大尉　味岡貢
陸軍歩兵大尉　高橋真
陸軍騎兵大尉　小松慶也
陸軍騎兵大尉　岩崎謙太
陸軍騎兵大尉　奥村壽
陸軍騎兵大尉　崎元盛
陸軍騎兵大尉　青柳勝敏
陸軍砲兵大尉　有賀成可
陸軍砲兵大尉　山本春彦
陸軍砲兵大尉　鈴木善藏
陸軍工兵大尉　奥村庄治郎
陸軍工兵大尉　柳井丑太郎
陸軍歩兵中尉　加倉井元德
陸軍歩兵中尉　西庄熊
陸軍歩兵中尉　本田竹治
陸軍歩兵中尉　鈴木盛清
陸軍歩兵中尉　高市馨
陸軍歩兵中尉　名田逞三
陸軍歩兵中尉　水谷守久
陸軍歩兵中尉　山本六郎
陸軍歩兵中尉　鷲山五造
陸軍歩兵中尉　菊池恆亨
陸軍歩兵中尉　大見謝八郎
陸軍歩兵中尉　森
陸軍歩兵中尉　内山清槌
陸軍歩兵中尉　成田長秀
陸軍歩兵中尉　黑田毅
陸軍歩兵中尉　竹本友次郎
陸軍歩兵中尉　川島侃一
陸軍歩兵中尉　田口友太郎
陸軍歩兵中尉　久志憲及
陸軍歩兵中尉　駒井喜三郎
陸軍歩兵中尉　三美幸次郎
陸軍歩兵大尉　山田慶次
陸軍歩兵中尉　渡邊達三
陸軍歩兵中尉　坂本爲作
陸軍歩兵中尉　伊熊友吉
陸軍騎兵中尉　齋藤廣太郎
陸軍騎兵中尉　角田南海夫
陸軍騎兵中尉　前田市松
陸軍騎兵中尉　川端俊生
陸軍騎兵中尉　奥田芳紀
陸軍砲兵中尉　仙波富藏
陸軍砲兵中尉　石原太之助
陸軍砲兵中尉　明里鹿藏
陸軍砲兵中尉　横山八十治
陸軍砲兵中尉　高畠喜起
陸軍砲兵中尉　行木賢司
陸軍輜重兵中尉　濱地太郎
陸軍歩兵少尉　花澤文庫
陸軍歩兵少尉　壹岐東一郎
陸軍歩兵少尉　鈴木丑松
陸軍歩兵少尉　園田秀一
陸軍歩兵少尉　奥野久雄
陸軍歩兵少尉　山内清
陸軍歩兵少尉　黑木剛吉
陸軍歩兵少尉　川城尚道
陸軍騎兵少尉　川上勉
陸軍騎兵少尉　渡邊眞彌
陸軍砲兵少尉　吉田俊藏
陸軍砲兵少尉　小柳松次郎
陸軍砲兵少尉　鈴木揚治
陸軍砲兵少尉　出水勇三
陸軍工兵少尉　安枝恭俊
陸軍三等主計正　田邊輿壯
陸軍三等主計正　池田純孝
陸軍一等主計　萩原鎌次郎
陸軍一等主計　西澤茂八
陸軍一等主計　權藤於兎丸
陸軍一等主計　拜崎幸二
陸軍一等主計　中沖直三郎
陸軍一等主計　山中信光
陸軍一等主計　赤木嘉一郎
陸軍一等主計　鈴木榮次郎
陸軍一等主計　八野井透

（各通）

陸軍一等主計　河村秀助
陸軍二等主計　山田詳三
陸軍二等主計　岡專吉
陸軍二等主計　菅又藤一
陸軍二等主計　中村忠太郎
陸軍三等主計　池田龍太郎
陸軍三等主計　松村藤次
陸軍三等主計　北村米治郎
陸軍三等主計　安部一
陸軍三等主計　秋山正男
陸軍三等主計　伊原寅次
陸軍三等主計　川津玉留
陸軍三等主計　小林茂平
陸軍三等軍醫正　丸山耕
陸軍一等軍醫　野田駿太郎
陸軍一等軍醫　大島達吉
陸軍一等軍醫　細堀禎次郎
陸軍一等軍醫　國分金城
陸軍一等軍醫　犬塚震平
陸軍一等軍醫　安村順吉
陸軍一等軍醫　藤田牧夫
陸軍一等軍醫　大賀正造
陸軍一等軍醫　吉田錠一
陸軍一等軍醫　恩知與策
陸軍一等軍醫　大原四郎
陸軍一等軍醫　原口伊太郎
陸軍一等軍醫　岡野勤
陸軍一等軍醫　神谷貞二郎
陸軍一等軍醫　佐藤秀松
陸軍一等軍醫　中悟
陸軍一等軍醫　渡邊今朝治
陸軍一等軍醫　保坂正男
陸軍一等軍醫　杉浦一次
陸軍一等軍醫　小林茂樹
陸軍一等軍醫　橋本喜久三
陸軍一等軍醫　小川昌五郎
陸軍一等軍醫　佐藤貞雄
陸軍一等軍醫　堀内義次
陸軍一等軍醫　安藤直忠
陸軍一等軍醫　福澤重一
陸軍一等軍醫　藤川正蓮
陸軍一等軍醫　清水直次
陸軍一等軍醫　早瀨三來
陸軍二等軍醫　山中令太郎
陸軍二等軍醫　高橋東
陸軍一等藥劑官　山岸理一郎
陸軍二等藥劑官　矢部二一
陸軍一等獸醫　井野場象次郎
陸軍一等獸醫　伊藤勇治郎
陸軍一等獸醫　宇野慶之介
陸軍二等獸醫　近藤義四郎

豫備被仰付（六月二十九日陸軍省）
補充須賀海軍工廠造船部副部員

（各通）

研究ノ爲メ呉海軍工廠附被仰付（以上六月二十九日海軍省）
宇都宮區裁判所判事兼宇都宮地方裁判所判事　名和剛
解本職專補宇都宮地方裁判所判事
宇都宮地方裁判所判事判事　名和剛
十級俸下賜
長崎區裁判所檢事代理ヲ解ク
長崎區裁判所檢事代理ヲ命ス（以上六月二十九日司法省）
司法官試補　堤瓦明
長崎區裁判所檢事代理ヲ命ス（以上六月二十九日司法省）
試補　緒方清繼
東京高等師範學校教授　佐々木祐太郎
學術實地指導ノ爲神奈川靜岡ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス（六月二十七日東京高等師範學校）
地方海員審判所理事官　安達房治郎
大阪地方海員審判所在勤ヲ命ス（六月二十八日遞信省）
滋賀縣立彥根中學校教諭　田中伊藤次
十級俸下賜（六月二十七日滋賀縣）
福島縣立和島中學校教諭　伊藤正胤
年俸八百四拾圓下賜但九級俸待遇（六月二十日福島縣）
議事課勤務ヲ命ス（六月二十九日衆議院）
衆議院書記官　澁川春水

○宮廷錄事

○謁見　佛蘭西國極東及太平洋艦隊司令長官海軍少將ドラ、グロア、ド、カストリ今般横濱ヘ來航ニ付キ敬意ヲ表スルタメ部下參謀長海軍中佐マク、グカアンド、スラヌ、副官海軍大尉カレル、モンカル號艦長海軍大佐シエロン、海軍機關中佐ル、ラン、海軍主計中監オリヴイエ、海軍軍醫中監ケルグロアンヲ隨ヘ本邦駐箚同國特命全權大使オーギユスト、ジェラール同伴昨二十九日午前十時三十分參內　天皇陛下ニ謁見仰付ケラレ又同時同大使館附武官海軍大尉マルチニーモ謁見仰付ケラレタリ

在本邦亞米利加合衆國大使館附武官海軍大佐ジエームス、エッテ、シーアスヘ

第81006号

今般退職歸國ニ付キ御暇乞ノタメ又海軍大佐ジョン、エッチ、シップレーハ右後任トシテ著京ニ付キ敬意ヲ表スルタメ本邦駐箚同國特命全權大使トーマス、ジェ、オブライエン同伴同日午前十一時參内　天皇陛下ニ謁見仰付ケラレタリ

○彙報

○官廳事項

○韓國警察事務委託ニ關スル覺書　本月二十四日寺内統監ト朴韓國臨時暑理内閣總理大臣トノ間ニ交換セラレタル韓國警察事務委託ニ關スル覺書左ノ如シ

覺書

日本國政府及韓國政府ハ韓國警察制度ヲ完全ニ改善シ韓國財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル目的ヲ以テ左ノ條款ヲ約定セリ

第一條　韓國ノ警察制度ノ完備シタルコトヲ認ムルトキ迄韓國政府ハ警察事務ヲ日本國政府ニ委託スルコト

第二條　韓國皇宮警察事務ニ關シテハ必要ニ應シ宮内府大臣ハ當該主務官ニ臨時協議シ處理セシムルコトヲ得ルコト

右各其ノ本國政府ノ委任ヲ受ケ覺書日韓文各二通ヲ作リ之ヲ交換シ後日ノ證トスル爲記名調印スルモノナリ

明治四十三年六月二十四日

統監　子爵　寺内正毅

隆熙四年六月二十四日

内閣總理大臣臨時暑理内部大臣　朴齊純

○韓國公使館附武官昇任　在本邦和國公使館附武官陸軍參謀大尉アーシュ、エル、ベンゼ少佐ニ昇任セラレタル旨同國公使ヨリ本月二十四日附ヲ以テ通知アリ

○官吏發著　◎帝室林野管理局靜岡支廳管内（出張ノ同局技師長岡文之進ハ本月二十三日歸京◎滋ニ上京ノ同局青森支廳長佐々木和策ハ同二十七日出發歸任◎内匠寮主事三室戸敬光ハ昨二十九日發ニ盛岡縣外三縣宜ニ鹿兒島稅務監督局管内（出張ノ大藏書記官今村次吉ハ一昨二十八日歸京◎福岡縣外六縣下（出張ヲ命セラレタル大藏書記官二宮基成ハ昨二十九日出發◎滋ニ上京ノ神戸稅關在勤稅關鑑定官池山英二郎長崎稅關在勤同林梁、門司稅關在勤同鹽谷富太郎ハ同日歸京◎滋ニ上京ノ神戸稅關在勤稅關鑑定官池山英二郎長崎稅關在勤同林梁、門司稅關在勤同鹽谷富太郎ハ同日歸京◎滋ニ上京ノ神戸稅關東郷歩兵第三十一旅團長ハ歩兵第三十五聯隊第三期末教育檢閲實視ノタメ、金澤地方ニ向ヒ本月二十四日出發同二十五日歸著更ニ歩兵第六十九聯隊第三期末教育檢閲實視ノタメ立野原地方ニ向ヒ神尾第九師團長ハ同聯隊第三期末檢閲視察ノタメ富山縣城端ニ向ヒ黒澤歩兵第五旅團長ハ歩兵第六十八聯隊第三期末檢閲實視並ニ地理實査ノタメ岐阜縣岐阜市、不破、安八、羽島郡及愛知縣中島郡地方ニ向ヒ藤本歩兵第三十二旅團長ハ歩兵第三十七聯隊特命檢閲射撃檢閲ノタメ大阪ニ向ヒ同二十六日土屋第四師團長及同師團釜諜長高山公通ハ特命檢閲使ニ隨行高槻、篠山、和歌山、深山、由良地方ニ向ヒ一昨二十八日、林近衛歩兵第一旅團長ハ地理實査ノタメ堺玉縣下ニ向ヒ昨二十九日孰モ出發◎滋ニ奈良ヘ出張ノ大井歩兵第十九旅團長ハ本月二十五日歸著渡邊第三師團長ハ歩兵第六十八聯隊第三期末檢閲實視ノタメ愛知縣丹羽郡犬山町及岐阜縣岐阜市附近ニ向ヒ同二十六日出發一昨二十八日歸著、長岡第十三師團長ハ歩兵第五十八聯隊第三期檢閲實施ノタメ關山ニ向ヒ同日出發即日歸著◎滋ニ千葉縣國府臺ヘ出張ノ第一師團釜諜長橋本勝太郎ハ本月二十七日、靜岡縣板妻地方ヘ出張ノ梅澤近衛歩兵第二旅團長ハ一昨二十八日孰モ歸京セリ

滋ニ佐賀、長崎二縣下ヘ出張ノ農商務省參事官村上隆吉ハ本月二十七日歸京セリ

若林奈良縣知事ハ本月二十七日出發赴任セリ

判決

○特許局審決　上塚萬次郎ヨリ篠鶴松ニ對スル第二五七〇六號商標登錄無效審判請求事件ニ付キ去月二十五日特許局ニ於テ左ノ如ク審決セリ

審判番號第一六三二號

審決書

大阪市東區今橋二丁目二十五番地

請求人　大阪市東區高麗橋二丁目百二十六番屋敷　上塚萬次郎

右代理人　特許辨理士　岡田藤三郎

大阪市東區瓦町一丁目十二番地

被請求人　篠鶴松

右當事者間ノ第二五七〇六號商標登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文

第二五七〇六號商標登錄ハ商品ベン先ニ對シ之ヲ無效トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領

請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ第二五七〇六號登錄商標ハ商品ベン先ニ對シ無效ナリト審決相成度其理由ハ被請求人ノ本件商標ハ羅馬字G一字ヲ記シテ成ルモノナリ然ルニ該G文字ノ標章ヲ附シタルペン先ハ日本帝國ニ輸入セラレ神戸市浪花町「ブラックモール」商會ニ於テ一手販賣ヲ爲シ尋ク世上ニ流布セラレタルモノニシテ然カモ該文字ハ十數年來被請求人ト同一方法ヲ以テ一般ニペン先ニ付シアルヲ以テ被請求人カ商品ペン先ニ對シ專用スヘキモノニアラス即チ商標法第二條第五號及第六號ニ該當スルモノニシテ同法第十條ニ依リ商標ペン先ニ對シテ無效タルヘキモノナリト云フニ在リ而シテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第十號證ヲ提出セリ

被請求人ハ審判請求書副本ノ送達ヲ受ケ左ヲ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス

審決ノ理由

甲第一號證乃至甲第十號證ニ據レハ明治三十五年一月ヨリ引續キ神戸市浪花町「ブラックモール」商會カ商品ペン先ニG文字ノ標章ヲ使用シタルモノヲ輸入シテ弘ク帝國内ニ販賣シ該商標カ本件登錄商標出願ノ當時ニ於テ世人ノ周知ニ係ル他人ノ標章ナルコトハ之ヲ明認スルニ足レリ然ルニ被請求人カ明治三十九年一月二十一日登錄出願シタル本件第二五七〇六號登錄商標ハ羅馬字G一記シ商品書記インキ及文房具一切ニ使用スルモノナルカ故ニ同一商品タルペン先ニ對シテハ商標法第二條第五號規定ニ該當シ同法第十一條ニ依リ無效タルヘキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十三年五月二十五日於特許局

審判長　特許局事務官　織田了

特許局事務官　奥山萬次郎

特許局事務官　村山小次郎

司法

○特赦　岡山縣眞庭郡津田村大字田原山上平民森谷かけハ故殺ノ罪ニ因リ明治三十九年十一月二日岡山地方裁判所ニ於テ、岡山縣久米郡垪和村大字東垪和平民村上ちかハ同罪ニ因リ同四十年一月十六日同裁判所ニ於テ各ゝ重懲役九年ニ處セラレ服役中ノ處本月二十日孰モ特典ヲ以テ放免セラレタリ

○公證人辭職　横濱地方裁判所所屬公證人西村時四郎ハ一昨二十八日願ニ依リ公證人ヲ免セラレタリ

○公證人事務取扱　大分縣士族富永野蕊ハ一昨二十八日公證人ニ任セラレ横濱地方裁判所所屬及元公證人西村時四郎後任トシテ事務取扱ヲ命セラレタリ

○陸海軍

○學生退所　憲兵練習所學生トシテ入所中ノ左記六十五人卒業ニ付キ一昨二十八日退所セリ（陸軍省）

	姓名	
陸軍憲兵大尉	田中善三	
陸軍憲兵大尉	田村潔	
陸軍憲兵大尉	小山田淵	
陸軍憲兵大尉	高橋雄三	
陸軍憲兵中尉	德永五郎	
陸軍憲兵中尉	宮川宇三郎	
陸軍憲兵中尉	荒木又男	
陸軍憲兵中尉	古屋忠三郎	
陸軍憲兵中尉	秋岡一嚴	
陸軍憲兵中尉	村田正治	
陸軍憲兵中尉	泊定吉	
陸軍憲兵中尉	田村平二郎	
陸軍憲兵中尉	原卓爾	
陸軍憲兵中尉	長谷部巖	
陸軍憲兵中尉	松林宇吉	
陸軍憲兵中尉	川原頴俤	
陸軍憲兵中尉	瀧重德治	
陸軍憲兵中尉	齋藤安二	
陸軍憲兵中尉	荒木民次郎	
陸軍憲兵中尉	園田主膳	
計	二〇人	
憲兵准士官	四二	
憲兵下士	二	
憲兵上等兵	四五	
計		

○箇閥黙呼施行日左ノ如シ（陸軍省）

青森縣	東津輕郡	自八月一日至八月九日（二日、七日ハ除ク）
	青森市	自八月七日至八月八日
	下北郡	自八月十一日至八月二十三日（十三日、十五日、十八日、二十二日ヲ除ク）、十九日
	三戸郡	自八月十二日至八月十日
	上北郡	自八月十二日至八月二十三日、十三日、十六日、二十一日ヲ除ク）、二十二日
	西津輕郡	自八月一日至八月七日（二日ヲ除ク）
	弘前市	自八月九日至八月十日
	北津輕郡	自八月一日至八月六日
	中津輕郡	自八月七日至八月十一日
	南津輕郡	自八月六日至八月十一日
巖手縣	二戸郡	自八月一日至八月五日（二日ヲ除ク）
	九戸郡	自八月六日至八月十六日（九日、十二日、十四日ヲ除ク）
	下閉伊郡	自八月一日至八月九日（六日、十二日ヲ除ク）
	盛岡市	自八月十日至八月十二日
	紫波郡	自八月十三日至八月十六日
	江刺郡	自八月六日至八月五日
	和賀郡	自八月六日至八月十三日
	稗貫郡	自八月十五日至八月二十日
	膽澤郡	自八月一日至八月六日
	西磐井郡	自八月七日至八月十一日
	東磐井郡	自八月十二日至八月十九日
	上閉伊郡	自八月一日至八月八日（五日ヲ除ク）
	秋田縣	自八月十日至八月十五日
	平鹿郡	自八月一日至八月八日
	雄勝郡	自八月九日至八月十五日
	仙北郡	自八月一日至八月十三日（十二日ヲ除ク）
	河邊郡	自八月一日至八月三日
	山利郡	自八月五日至八月十六日（十一日、十五日ヲ除ク）
	南秋田郡	自八月一日至八月十四日（七日、十一日ヲ除ク）
	秋田市	自八月十五日至八月十六日
	鹿角郡	自八月一日至八月四日
	北秋田郡	自八月一日至八月九日（四日ヲ除ク）
	山本郡	自八月一日至八月八日

○學事

○米澤高等工業學校規則　米澤高等工業學校ニ於テ今般同校規則ヲ左ノ通定メタリ（文部省）

米澤高等工業學校規則

第一章　總則

第一條　本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ工業ニ從事スヘキ者ニ高等ノ學術技藝ヲ教授スルヲ以テ目的トス

第二條　本校本科ノ學科ヲ分チテ染織科、應用化學科、機械科トシ染織科ヲ分チテ色染分科、織織分科トス

第三條　各學科ノ修業年限ハ各三箇年トス

第四條　本校ニハ研究生及選科生ヲ置クコトアルヘシ

研究生及選科生ニ關シテハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

第二章　學科課程

第五條　各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ教授定時間外又ハ休業期間ニ於テ臨時講演ヲ聽カシメ又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ（學科課程表略ス）

第三章　學年、學期及休業日

第六條　學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條　學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期ハ四月一日ニ始マリ八月三十一日ニ終ル

第二學期ハ九月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三學期ハ一月一日ニ始マリ三月三十一日ニ終ル

○不要徴兵終決處分者　宮城縣ニ於ケル所在不明ノ徴兵終決處分未濟中滿四十歳超過ノタメ爾後調査ヲ要セサル者左ノ如シ（宮城縣）

本籍	氏名	生年月日	同長岡村	釜嘉代治	三、二、二三
栗原郡若柳町	千田文助	明治三、五、八	同若柳町	後藤勇吉	四、二、二三
同金成村	菅原文治郎	四、三、二三			

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
隅田	六、二七	岳州	松江	大泊
葛城	六、二八	坊	八雲	數香
見島	同	松眞	同	松眞
高千穂	同	横須賀	沖島	竹敷
遠間	同	玖波	同	鎮海
			伊吹	吳

○日本赤十字社錄事　韓國本部總長竝副總長囑託　日本赤十字社ハ山縣伊三郎ニ韓國本部總長ヲ、有吉忠一ニ同副總長ヲ囑託セリ（宮内省）

第8106号

第六條　學年ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條　學期ハ左ノ如シ

一　夏季休業　七月二十日ヨリ八月十日ニ終ル

二　冬季休業　十二月二十日ヨリ翌年一月七日ニ終ル

第八條　學期ノ始ニ當リ學校ハ其ノ學期ノ日數ヲ豫メ定メ之ヲ公示スルコトヲ要ス

第九條　學校ハ毎年一回以上學生ノ學力ヲ試ムルコトヲ要ス

第十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ學年ノ教科ノ全部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ學期ノ教科ノ全部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第三十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第三十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第三十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第三十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第三十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第三十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第三十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第三十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第三十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第三十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第四十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第四十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第四十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第四十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第四十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第四十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第四十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第四十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第四十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第四十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第五十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第五十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第五十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第五十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第五十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第五十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第五十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第五十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第五十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第五十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第六十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第六十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第六十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第六十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第六十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第六十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第六十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第六十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第六十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第六十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第七十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第七十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第七十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第七十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第七十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第七十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第七十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第七十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第七十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第七十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第八十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第八十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第八十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第八十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第八十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第八十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第八十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第八十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第八十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第八十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第九十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第九十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第九十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第九十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第九十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第九十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第九十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第九十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第九十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第九十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百二十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百二十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百二十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百二十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百二十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百二十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百二十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百二十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百二十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百二十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百三十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百三十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百三十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百三十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百三十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百三十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百三十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百三十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百三十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百三十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百四十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百四十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百四十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百四十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百四十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百四十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百四十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百四十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百四十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百四十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百五十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百五十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百五十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百五十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百五十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百五十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百五十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百五十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百五十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百五十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百六十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百六十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百六十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百六十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百六十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百六十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百六十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百六十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百六十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百六十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百七十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百七十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百七十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百七十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百七十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百七十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百七十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百七十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百七十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百七十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百八十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百八十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百八十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百八十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百八十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百八十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百八十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百八十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百八十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百八十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百九十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百九十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百九十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百九十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百九十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百九十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百九十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百九十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百九十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第百九十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百二十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百二十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百二十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百二十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百二十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百二十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百二十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百二十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百二十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百二十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百三十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百三十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百三十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百三十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百三十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百三十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百三十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百三十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百三十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百三十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百四十條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百四十一條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百四十二條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百四十三條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百四十四條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百四十五條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百四十六條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百四十七條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百四十八條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百四十九條　學校ハ學生ノ學力ヲ試ムルニ當リ其ノ教科ノ一部ニ亘リ之ヲ行フコ

一　常態ノ窘縮上皮原形質ノ構造ハ「ホモゲン」ナル圓柱狀ノ細桿ヨリ成ル又顆粒性細桿及顆粒列ハ分泌ノ或時期ニ於テ生シタルモノトス然レトモ亦變性狀態ニ移行スル現象モ做スヘキモノニシテ其鑑別甚難シ

二　細桿ノ走行變狀及細顆粒ハ生理的ニモ又病的初期ニ於テモ見ルヘキモノナリ

三　組大顆粒ノ現出ハ必ス病的ノモノナリ

腦髓ノ破傷風毒素結合物質ニ就イテ（抄文）

著者ハ新鮮ナル腦脊髓乳化ノ破傷風毒素結合作用即チワッセルマン氏現象ノ化學的研究ヲ遂ケ該問題ノ解決ヲ試ミタリ之ニ關スル化學的實驗ハ未タ多カラサルモ「リポイド」ノ該現象ニ關係アルヲ確認シ且乾燥セル腦髓實質粉末モ亦該作用ヲ有スルコトヲ檢定セリ而シテ後ツーザカム氏ノ方法ニヨリ種々ノ溶解藥ヲ以テ之ヲ處置シ其ノ何レノ成分ニ破傷風毒素結合作用アルヤヲ實驗シタリ

一　腦髓實質內ノ破傷風毒素結合物質ハ沸騰セサル「エーテル」ニ溶解セサルツーザカム氏ワイセーマテリ「アレクロシード」及「フェレプロシード」ニ屬スル而シテ前者ハ後者ヨリモ大ナル結合作用ヲ有ス

二　「フェレプロシード」即チ「フレノシン」及「ケラシン」ノ兩物質ハ同度ノ結合作用ヲ有シ而シテ「フレノシン」ニ類似セルチアフェルデル氏發見ノ「フェレプロン」モ亦前者ト同性同度ノ作用ヲ有ス

三　破傷風毒素ト前掲物質トノ結合ハ强固ナラスシテ酒物體內ニ於テ其ノ一部ハ分解ス體外ニ於テ其ノ結合ヲ起スニハ一定ノ時間（五分乃至十分）ヲ要シ「フレノシン」「クロロホルム」溶液ヲ毒素液ト混合攪遊スレハ毒素ハ「フレノシン」破傷風毒素結合物ハ「クロロホルム」ニ分解セシテ溶解ス而シテ水「アルコホル」ニテ沈澱セシムルモ分解スルコトナシ

此等ノ成績ハ破傷風毒素ニ對スル「リポイド」親和力ノワッセルマン氏現象ニ與テ力アルヲ證シ又破傷風毒素ノ末梢神經ヲ經テ全身ニ傳播スル事實ニモ重要ナル關係ヲ有スルナキヤヲ疑ハシム次キニ著者ハ左ノ問題ヲ研究セリ

一　「フェレプロン」及「フレノシン」ノ如何ナル分子カ此ノ結合力ヲ有スルヤ

「チアフェルデル」氏ニ依レハ「フェレプロン」ハ「フェレプロン」、「ゾイレン」「スフィンゴシン」及「ガラクトーゼ」ノ三體ニ分解ス由ッテ同方法ヲ以テ「フレノシン」ヲ分解シ右同性ニシテ同鎖縮點ヲ有スル分解物ヲ得タリ然シテ右物質中「フェレプロンゾイレン」及其「メチールエステル」ノミ毒素結合力ヲ有シ酸性ナル前者ハ中性ナル後者ヨリ有力ナリ而シテ前者ノ有力ナルハ主トシテ其ノ二　破傷風血清ノ效力ハ前記ノ物質ニ起因スルヤ或ハ該血清中ニ存スル他ノ「リポイド」ニヨリテ發起スルヤ

破傷風血清ノ「リポイド」含量ハ普通血清ニ比シ多量ナルモ「フェレプロシード」類ヲ含有セス又破傷風血清中ニ存スル「リポイド」ハ破傷風毒素結合作用ナキヲ以テ之ト破傷風血清ノ作用トハ何等ノ關係ナキヲ知レリ此ノ「リポイド」含量ノ多量ナル現象ハ他ノ免疫血清（實扶的量、赤痢腸窒扶斯猩紅熱）ニ於テモ認ムル所ナリ

斯ノ如ク腦髓ノ破傷風毒素結合作用ハ其ノ大部分ヲ前記ノ物質ニ歸スルコトヲ證シ得タルモ新鮮ナル腦髓中ニハ他ニ上述ノ抽出法等ニヨリ破壞サルヽ結合物質ノ含有サレ居ルヤ否ヤハ疑問ニ屬ス又腦白質ヨリ結合力强キモ「フェレプロシード」ヲ含有スルコト少キ灰白質ノ結合作用ハ如何ナル物質ニヨリテ起ルヤ不明ナレトモ單ニ其ノ酸性ナルノ故ヲ以テ之レヲ說明スルヲ得ス思フニ同作用ヲ有スル未知ノ物質ニヨルナラン

赤血球ノ「リシノゲン」ニ關スル知見（抄文）

「リシノゲン」ノ化學的性狀ヲ知悉スルハ動物體內ニ於ケル「ヘモリゼン」ノ發成經過ヲ探知スルニ當リ最モ重要ニシテ吾人ハバンゲ「ブオルスマン」兩氏ノ業蹟ニ依リ稍其ノ性狀ノ一斑ヲ窺ヒ得タルモ「リシノゲン」ハ如何ナル物質ナルヤニ至リテハ未タ分析ニヨリテ證明セラレス故ニ著者ハ乾燥セル赤血球粉末ヲ原量トナシ左ニ略記セル方法ニ從ヒ種々ノ溶解藥ヲ用ヒテ先ヅ粗「リシノゲン」ヲ製シ細桿ヨリ成ル又顆粒性細桿及顆粒列ハ分泌ノ或時期ニ於テ生シタルモノトス然レトモ亦變性狀態ニ移行スル現象モ做スヘキモノニシテ其鑑別甚難シ

細桿ノ走行變狀及細顆粒ハ生理的ニモ又病的初期ニ於テモ見ルヘキモノナリ

腦髓ノ破傷風毒素結合物質ニ就イテ（抄文）

著者ハ新鮮ナル腦脊髓乳化ノ破傷風毒素結合作用即チワッセルマン氏現象ノ化學的研究ヲ遂ケ該問題ノ解決ヲ試ミタリ之ニ關スル化學的實驗ハ未タ多カラサルモ「リポイド」ノ該現象ニ關係アルヲ確認シ且乾燥セル腦髓實質粉末モ亦該作用ヲ有スルコトヲ檢定セリ而シテ後ツーザカム氏ノ方法ニヨリ種々ノ溶解藥ヲ以テ之ヲ處置シ其ノ何レノ成分ニ破傷風毒素結合作用アルヤヲ實驗シタリ

一　腦髓實質內ノ破傷風毒素結合物質ハ沸騰セサル「エーテル」ニ溶解セサルツーザカム氏ワイセーマテリ「アレクロシード」及「フェレプロシード」ニ屬スル而シテ前者ハ後者ヨリモ大ナル結合作用ヲ有ス

二　「フェレプロシード」即チ「フレノシン」及「ケラシン」ノ兩物質ハ同度ノ結合作用ヲ有シ而シテ「フレノシン」ニ類似セルチアフェルデル氏發見ノ「フェレプロン」モ亦前者ト同性同度ノ作用ヲ有ス

三　破傷風毒素ト前掲物質トノ結合ハ强固ナラスシテ酒物體內ニ於テ其ノ一部ハ分解ス體外ニ於テ其ノ結合ヲ起スニハ一定ノ時間（五分乃至十分）ヲ要シ「フレノシン」「クロロホルム」溶液ヲ毒素液ト混合攪遊スレハ毒素ハ「フレノシン」破傷風毒素結合物ハ「クロロホルム」ニ分解セシテ溶解ス而シテ水「アルコホル」ニテ沈澱セシムルモ分解スルコトナシ

此等ノ成績ハ破傷風毒素ニ對スル「リポイド」親和力ノワッセルマン氏現象ニ與テ力アルヲ證シ又破傷風毒素ノ末梢神經ヲ經テ全身ニ傳播スル事實ニモ重要ナル關係ヲ有スルナキヤヲ疑ハシム次キニ著者ハ左ノ問題ヲ研究セリ

一　「フェレプロン」及「フレノシン」ノ如何ナル分子カ此ノ結合力ヲ有スルヤ

「チアフェルデル」氏ニ依レハ「フェレプロン」ハ「フェレプロン」、「ゾイレン」「スフィンゴシン」及「ガラクトーゼ」ノ三體ニ分解ス由ッテ同方法ヲ以テ「フレノシン」ヲ分解シ右同性ニシテ同鎖縮點ヲ有スル分解物ヲ得タリ然シテ右物質中「フェレプロンゾイレン」及其「メチールエステル」ノミ毒素結合力ヲ有シ酸性ナル前者ハ中性ナル後者ヨリ有力ナリ而シテ前者ノ有力ナルハ主トシテ其ノ二　破傷風血清ノ效力ハ前記ノ物質ニ起因スルヤ或ハ該血清中ニ存スル他ノ「リポイド」ニヨリテ發起スルヤ

破傷風血清ノ「リポイド」含量ハ普通血清ニ比シ多量ナルモ「フェレプロシード」類ヲ含有セス又破傷風血清中ニ存スル「リポイド」ハ破傷風毒素結合作用ナキヲ以テ之ト破傷風血清ノ作用トハ何等ノ關係ナキヲ知レリ此ノ「リポイド」含量ノ多量ナル現象ハ他ノ免疫血清（實扶的量、赤痢腸窒扶斯猩紅熱）ニ於テモ認ムル所ナリ

斯ノ如ク腦髓ノ破傷風毒素結合作用ハ其ノ大部分ヲ前記ノ物質ニ歸スルコトヲ證シ得タルモ新鮮ナル腦髓中ニハ他ニ上述ノ抽出法等ニヨリ破壞サルヽ結合物質ノ含有サレ居ルヤ否ヤハ疑問ニ屬ス又腦白質ヨリ結合力强キモ「フェレプロシード」ヲ含有スルコト少キ灰白質ノ結合作用ハ如何ナル物質ニヨリテ起ルヤ不明ナレトモ單ニ其ノ酸性ナルノ故ヲ以テ之レヲ說明スルヲ得ス思フニ同作用ヲ有スル未知ノ物質ニヨルナラン

赤血球ノ「リシノゲン」ニ關スル知見（抄文）

「リシノゲン」ノ化學的性狀ヲ知悉スルハ動物體內ニ於ケル「ヘモリゼン」ノ發成經過ヲ探知スルニ當リ最モ重要ニシテ吾人ハバンゲ「ブオルスマン」兩氏ノ業蹟ニ依リ稍其ノ性狀ノ一斑ヲ窺ヒ得タルモ「リシノゲン」ハ如何ナル物質ナルヤニ至リテハ未タ分析ニヨリテ證明セラレス故ニ著者ハ乾燥セル赤血球粉末ヲ原量トナシ左ニ略記セル方法ニ從ヒ種々ノ溶解藥ヲ用ヒテ先ヅ粗「リシノゲン」ヲ製シ

赤血球粉末加（不溶解成分加）「アツエトン」溶解成分

（不溶解成分加）「エーテル」溶解成分

（溶解成分）熱アルコホル

（溶解成分加）不溶解成分加

（溶解成分）不溶解成分＝粗「リシノゲン」

此ノ粗「リシノゲン」ハ褐色ノ粉末ニシテ動物體ニ注射スル時ハ「ヘモリゼン」ヲ發成スル機能ヲ有シ沸騰セル「ベンゾル」及之有性曹達溶ニ溶解スルモ普通ノ溶解藥及水ニハ溶解セス熱灼スルトキハ角質燃燒ノ臭氣ヲ放チ灰燼ハ磷、硫黃及鐵（（マチン）ノ混合ニヨリ生スル）ヲ含ミモーリシエ反應ヲ呈スルモ「トロメル」及一般蛋白反應ハ陰性ナリ苛性曹達溶液ニテ同樣ニ處置シ其ノ沈澱物及濾過液ヲ檢スルニ前ト反對ニテ「リシノゲン」ハ沈澱物中ニアリ斯ク「リシノゲン」ノ溶解性ハ他ノ物質ノ混合ニヨリ容易ニ變化スルモノナルヲ以テ「バンゲ」及「フォルスマン」氏ノ如ク單ニ溶解性ノ如何ヨリ其化學的性狀ヲ顯定スルノ早計ナルヲ知ル此ノ「リシノゲン」水溶液ハ頗ル高度ノ「ヘモリゼン」發成力ヲ有シ「リシノゲン」トノ同チ一ハ般蛋白反應ハ陰性ニシテ大ニ稀薄スルモ猶ホ著名ナル「モーリシエ」反應ヲ呈ス又此ノ一波ヲ蒸散スレハ多量ノ食鹽ヲ含有スル白色殘渣ヲ殘ス之ヲ熱灼スレハ脂肪ヲ燒ク如キ臭氣ヲ放チテ炭化シ高度ノ磷酸反應ヲ呈ス（硫黃反應ハ原量缺乏ノ爲メ施行セス）前記ノ如ク「リシノゲン」ハ毒性ナル蛋白類ニ屬スル證徵無キモ又之ヲ「リポイド」ニ屬ナリト斷定スルハ早計ニ失スルノ惡アリ然シテ力メテ蛋白及「リポイド」ニヨリ發起スルモノトセハ「リシノゲン」ハ燐及含水炭素質ト抱有スル物質ナリト言フヲ得ヘシ但シ既知ノ「フォスフォチード」ニ屬スルノ證跡ハ之ヲ認ムルヲ得ス

石神（ペベルクロトキソイヂン）ノ實驗的研究（英文）

著者ハコッポ氏ノ「ペベルクリン」又ハ之ニ類似製劑ノ注射用量ヲ定ムルニ當リライト氏ノ「オプソニン」係數カ學者間尚議論アルニ關セス「ペベルクリン」注射ノ効果及ヒ患者ノ抵抗力ヲ定ムルニハ可ナリ精密ナル操作ナシ得（シトナシ此ノ「オプソニン」生産力ヲ檢定ニヨリテ石神氏「ペベルクロトキソイヂン」ノ殺菌力ヲ慥メントシタリ著者ハ實驗ニ「モルモット」ヲ用ヒ像メ健康動物ニ就テ正規「オプソニン」係數ヲ計算シ五十六回中五十一回ハ〇・八乃至一・二ナルコトヲ慥メ次ノ四實驗ヲ施行セリ

第一實驗八四ノ健康ナル「モルモット」ニ「ペベルクロトキソイヂン」ヲ〇・一立方ヶ「オプソニン」係數ヲ測ルコト合計百五十七回之ニヨリテ「オプソニン」係數ハ注射後七日又ハ十日目ヨリ增加シテ多少增減アルモ常ニ標準假以上ナルコトヲ表ニヨリテ說明セリ

第二實驗ニ於テハ四四ノ「モルモット」ノ鼠蹊部ニ結核菌ヲ接種シ翌日ヨリ四日又ハ五日目毎ニ「オプソニン」係數ヲ算スルコト八十四回此ノ場合ニハライト氏ノ人體ニ於テ見タル如ク常ニ標準假以下ノ係數ヲ得タリト云ヒ

第三實驗ニ七四ノ「モルモット」ニ結核菌ヲ接種シソノ中四四ノ「モルモット」ニ接種後三十一日三四ノ「モルモット」ニ接種後三十一日三四ノ「モルモット」ニ接種後三十一日三

○在外公館報告

○遅國檢疫施行　遅羅國ニ於テ新嘉坡ヨリ入港スル船舶ニ對シ檢疫施行ノ件ニ付キ般谷駐在領事野間政一ヨリ本月八日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

遅國般谷在領事野間政一ヨリ本月八日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

遅國般谷在領事野間政一ヨリ本月八日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

遅國領水檢疫法第一六二條ニ據リ新嘉坡ヨリ入港スル船舶ニ對シ檢疫施行ノ件ニ付キ般谷駐在領事野間政一ヨリ本月八日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

遅國般谷在領事野間政一ヨリ本月八日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

遅國領水檢疫法第一六二條ニ據リ新嘉坡ヨリ入港スル船舶ニ對シ檢疫施行ノ件ニ付キ般谷駐

横須賀　同　午後十時五十五分五十秒　弱（震度弱キ方）　家屋動揺ス
前橋　同　午後十時五十五分五十六秒　弱（震度弱キ方）　上下動アリ
熊谷　同　午後十時五十六分四十三秒　弱（震度弱キ方）　性質急、上下動アリ、家屋動揺ス
長野　同　午後十時五十六分三十二秒　微　性質急

○東京地震報告

發震時　六月二十八日午後十時五十五分五十一秒

震動時間
- 水平動　三分三十秒　微動期　七秒　主要動　二十三秒　終期　三分零秒
- 上下動　二分零秒　初期微動期　七秒　主要動　十一秒　終期微動期　一分四十二秒

最大水平動
- 全振幅　北西—南東（南四十九度東）　○・五秒（發震後第十秒時ニ顯ル）
- 全振幅　○・二粍　振動期　○・三秒（發震後第十二秒時ニ顯ル）

最大上下動　人身ノ感覺　性質急　地鳴ナシ

記事　此地震ハ顯ル急性ナル震動ニ起リ第十秒時ヲ經テ前記ノ最大振幅ヲ顯セシカ上下動ハ是ニ後ルヽコト二秒時ニシテ最大ヲ現シ尚ホ水平動ハ二十秒時間上下動ハ五秒時間兩動共ニ著明ナリシモ漸次ニ微弱ト爲リ靜止セリ（以上中央氣象臺）

○廣告

銀行會社ニシテ貸借對照表ヲ官報ニ掲載ヲ望ム向ハ當局ノ定ムル官報廣告手續ニ依リテ之ヲ請求セラルヘシ

明治四十三年六月　印刷局

○官報廣告手續

明治四十三年六月　印刷局

一原稿ノ字體ハ正楷ニ限ル
一用紙ハ罫紙ヲ用ヒ一行ヲ一字隔テ列記スルヲ要ス但シ數回掲載ヲ要スル向ハ一行三十四字詰ノ縱横罫紙ヲ作リ置キ之ニ記載スルコト最モ便ナリトス
一掲載ヲ要スル目數ト活字號數トハ之ヲ原稿中ニ記入セラルヘシ
但シ本文ハ六號活字ニ限リ四號又ハ五號活字ハ末行ノ記名ロ本銀行日本郵船會社等ノ名稱ニ限ル
一初行ニ置ク四號活字ノ標目ハ事類ニ應シテ當局之ヲ提記スヘキニ依リ各自ノ提定ニ任セテ廣告料ヲ徵收スルノ限ニアラス
一廣告料ハ左ノ割合ヲ以テ納金セラルヘシ
- 四號活字　一行（二十六字詰）　一回　金四十五錢
- 五號活字　一行（三十四字詰）　一回　金四十錢
- 六號活字　一行（四十五字詰）　一回　金三十錢

一罫表等ヲ挿入スルモノハ前項ニ比準シ行數ニ見積リテ計算ス又ハ「しゝ」字トシテ計入スル モノトス
一同一事項ニシテ記載方多岐ニ渉ルモノハ當局ニ於テ一定ノ文例ニ依リ實際掲載ノト齟齬スルコト アルヘシ
一同一事項ニシテ記載方多岐ニ渉ルモノハ當局ニ於テ一定ノ文例ニ依リ實際掲載ノト齟齬スルコト前數項ノ例規ニ準據セサル廣告ハ返戻スルコトアルヘシ

○華族世襲財産認可

東京府豐多摩郡中野町ノ内　一畑畦畔共六段五畝十七歩　子爵山地元彦所有
右世襲財産ト爲スコトヲ明治四十三年六月二十九日宮内大臣認可ス

明治四十三年六月　爵位寮

○醫籍登錄

醫師法第四條ニ依リ醫籍ニ登錄シタル者左ノ如シ

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
四三、六、二九	二七九	長野縣平民	村上龜十	京都府廳

明治四十三年六月　內務省

○藥劑師名簿登錄

藥品營業並藥品取扱則第五條ニ依リ藥劑師名簿ニ登錄シタル者左ノ如シ

明治四十三年六月　內務省

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
四三、六、二	三七六四	大阪府平民	山本文顯	京都府廳
同	三七六六	佐賀縣平民	溝上金一	佐賀縣、杵島郡役所
同	三七七七	東京府平民	高木嘉三	錦江村役場
同	三七七八	石川縣平民	浦部榮松	警視廳、東橋警察署三十間堀分署
同	三七七九	千葉縣平民	神幸川縣平民	石川縣、鹿島郡役所
同	三七八〇	長崎縣平民	村野留藏	神奈川縣、橫須賀市役所
同	三七八一	福岡縣平民	林田善司	福岡縣、久留米市役所
登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
四三、六、二	二九	大不列顛國	ハーバート、ヴイ、ホーレー	神奈川縣廳

○免許證書換下付

醫師免許證ヲ書換（下付シタル者左ノ如シ

明治四十三年六月　內務省

費換下付

年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
四三、六、二〇	三二二	宮城縣平民	石井勉	新潟縣、長岡市役所
同	二二一	京都府平民	有吉市郎	京都府、加佐郡役所、倉梯村役場
同	二五九一	東京府士族	赤心定治	東京府、豐多摩郡千駄ケ谷町役場
同	二六三一	東京府平民	嘉瀨嘉夫	東京府、東京市小石川區役所
同	二六七九	北海道士族	岩夫	北海道、札幌區役所
同	二六八八	廣田清	井戸川	富山縣、中新川郡役所、音彥村役場
同	二六六四	福島縣士族	福永芳藏	靜岡縣、駿東郡役所、沼津町役場

○兔狀再下付

藥劑師兔狀ノ再下付ヲ爲シタル者左ノ如シ但シ從前ノ兔狀ハ無效トス

明治四十三年六月

再下付年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
四三、六、二五	二八六	青森縣平民	南了益	青森縣、青森市役所

○檢定教科用圖書

尋常小學校並高等小學校唱歌科教員及兒童用　全一册　定價金五錢

作歌者　東京府士族　大和田建樹
作曲者　東京府平民　田村虎藏　發行者（東京府東京市本郷區根津宮永町三十五番地廣島縣平民　金重鐘一

右明治四十三年六月二十九日檢定ス

明治四十三年六月

○生徒募集

本年九月入學セシムヘキ本校繊維科及應用化學科第一學年生徒各ゝ二十五人（繊維科色染分科十人、同機織分科十五人）ヲ募集ス其要項左ノ如シ

明治四十三年六月　米澤高等工業學校

入學志願者資格　品行端正身體強壯年齡滿十七歲以上ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者
一　中學校ヲ卒業シタル者
二　專門學校入學者檢定規程ニ據ル試驗檢定ニ合格シタル者
三　專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者
四　工業學校ヲ卒業シタル者但シ志望學科ト同種類若クハ類似ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル

入學試驗科目　國語及漢文、英語、數學、物理、化學、圖畫（自在畫及用器畫）トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行ヒ別ニ體格檢査ヲ行フ

入學試驗期日及場所　本年八月二十五日ヨリ本校（在米澤）及東京（場所確定次第通知ス）ニ於テ施行ス

出願期日及其他　入學志願者ハ左ノ書類ニ入學試驗手數料金三圓（現金又ハ郵便爲替券ニ限ル）ヲ添ヘ來ル七月十一日ヨリ本年八月十日マテニ文部省內本校事務所ニ到達スヘキ旨取ヲ以テ送出スヘシ但シ郵便爲替ハ九段郵便局ヲ限ルシテ受驗票ヲ得サルカ又ハ何等ノ事由アルモ一旦納付シタル試驗手數料ハ還付セス

一　入學願書（第一號樣式）入學願書ヲ郵便ニ付スルトキハ書留トスヘシ
二　履歷書（第二號樣式）
三　卒業學校長ノ證明書（第三號樣式）又ハ專門學校入學試驗檢定合格證明書（第四號樣式）
四　寫眞（手札形ニシテ脫帽半身入學志願前六箇月以內ニ撮影シ裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ自記スヘシ）

第一號書式（用紙美濃）

入學願書

（受驗希望ノ學科所東京又ハ米澤ト記スヘシ）

私儀貴校入學（何分科）修業ノ爲入學志願候ニ付御許可相成度別紙履歷書、卒業證明書、若クハ專門學校入學檢定合格證明書ヲ添ヘ此段試驗手數料及寫眞相添願候也

現住所
本籍地
族稱戶主（若クハ戶主ノ續柄）
何某　年月日生

米澤高等工業學校長何某殿

第二號書式（用紙美濃）

履歷書

現住所
本籍地
族稱戶主（若クハ戶主ノ續柄）
何某　年月日生

一學業
何年何月ヨリ何年何月迄何地官公私立何學校ニ於テ若クハ何某ニ就キ何學修業何年何月何地官公私立何學校ニ於テ何々修業證書若クハ卒業證書又ハ品行證明書（別紙寫ノ通）ヲ受クヽ其ノ他重要ノ事項
（卒業證書寫ヲ添付スヘシ）

一職業
何年何月何官職拜命若クハ何業ニ從事ス
何年何月退官廢業若クハ現今何官在職何業從事等

一當罰
何年何月何所ニ於テ何々ノ當罰ヲ受ク等

入學試驗日時割

八月二十五日	體格檢査	午前八時ヨリ
同二十六日	數學	自午前八時至同十一時
同二十七日	英語	自午前八時至同十一時
同二十八日	圖畫	自午前八時至同十一時

○圖書發行

一明治四十三年日本船名錄附錄第一號（明治四十三年一月ヨリ四月ニ至ル）
右發行左記販賣所ニ於テ販賣ス　定價金八十錢

明治四十三年六月

特約販賣所
東京市京橋區本濱町二十五番地　長谷川浩三郎
同市日本橋區通三丁目八番地　丸善株式會社書店
同市日本橋區松屋町一丁目　鈴木彌兵衛

遞信省管船局

大阪市西區南堀江町六丁目七十番地　福井清司
同市西區九條町五丁目　堀田金吾
長崎市江戸町　橋本雄藏
函館區船場町二番地　金森合名會社支店金森船具店

一案業
何ノ通相違無之候也
年月日　何某印

第三號書式（用紙美濃）

卒業證明書

族稱　何

右ハ年月日本校何學年ニ入學年月日金科ヲ卒業シタル者ナルコトヲ證明ス
年月日　何地官公私立何學校長　何某印

第四號書式（用紙美濃）

證明書

族稱　何

右ハ專門學校入學者檢定規程ニ據リ年月日本校ニ於テ施行シタル試驗檢定ニ合格シタル者ナルコトヲ證明ス
年月日　何地官公私立何學校長　何某印

物理	自午後二時至午後十二時	物理
化學	自午後二時至午後十二時	化學
國語及漢文	自午後二時至午後十二時	國語及漢文

（明治四十三年一月ヨリ四月ニ至ル）
（郵便物ノ種類及其ノ價額ヲ掲載ス）

○貯金通帳亡失及盜難等

左記貯金通帳亡失及盜難等ノ事故ニ確リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局ニ届出ツヘシ

明治四十三年六月　郵便貯金局

横濱市　航路標識管理所

寶船所　東京市麴町區有樂町一丁目一番地
日本郵船株式會社　同横濱支店
横濱市海岸通五丁目二十番地　同函館支店
函館區船場町十九番地　同大阪支店

明治四十三年六月

神戸市海岸通一丁目十番地	神戸支店	同
長崎市俵屋町三番地	同長崎支店	同
門戸市濱町六番地	同門司支店	同
大阪市北區富島町二十番地	同大阪荷扱所	同

英文寶價金一圓三十五錢
和文寶價金九十五錢

第 81106 号
本文

記番號	姓名	付局所名	預人氏名
せいや 二〇七六	福井	福井川上町	潔
かわ 七四六一	石川	輪島	小田原修太郎
ぬほろ 五〇二二	兵庫	神戸	相生
ぬにて 六六三	同	富島	清水
ぬにく 八四六	同	香川	佳
ぬるふ 八五三	同	神戸北町	小松
ぬにし 二一四〇	同	生	梅香
せいや 三六二一二	福井	福井川上町	與
せいも 二一六三九	同	同手寄中町	る美
せいる 八六三一二	大阪郵便為替貯金支局	大阪	磯部
恩か 九六七三	元郵便為替貯金管理所	石川	輪
かわ 五四三二	同	南	島
かほり 二一〇	元大阪郵便為替貯金管理支所	志	見
さた 六二〇〇二	元大阪郵便為替貯金管理支所	大阪	久保
ゐいき 五二七四	大阪天神橋	大阪天王寺	田中
同 五六八〇〇	同	同天神前	岡野
ゐこ 一二六二〇	同	同	淺
ゐいき 四〇二九元	岡山	岡山東中島町	久松
すはて 五〇〇	岡山	山	田
すれし 二二七元	岡山	加	西
すはし 三五四	兵庫	神	名倉
ぬいく 四九七	兵庫	神	竹林
ぬわ 七二一七	同	洲	明
ぬよ 四三〇七	同	明	水
ふろす 三七〇	島取	黒	田中
ほいいに 六三八	同	住	周
ほいいひ 五〇七二	同	大阪大手	正雄
ほいいほ 九〇六六	京都	舞	田
とる 一九〇九	福井	金	横澤
せに 六六二〇	鹿兒島川	津	内
まゐ 四七一五	同	鶴	横山
そゐはH〇〇二	元下關郵便為替貯金管理支所	橋	晃
ひゐ 二〇六六	熊本	高橋	當正
ひろむ 二九四一	同	木	久惠
ひろい 一四五三	同	杵	直
なは 一四五三	同	白	植
ないら 一四五三	同	大分	寅
まろく 四四九	宮崎	守	中矢
同 四四九	同	土	正元
同 四四八	同	呂	志兎藏
まよか 三五三	同	坪	馬淵
そを 五六二四	長崎	谷	雲
そにら 一〇六八	同	諫早	三
そにを 九九三	同	岸	喜代治
そろほ 七七〇	同	世保常盤	嬉城
そろま 四八〇	佐賀	佐	諦現
そちま 八五五	同	大	松
そにけ 二四三三	長崎	府	井
そにす 三〇〇九	長崎船大工町	塚	永光
のか 四七七九	同	峰	屯
のれ 三一七〇	同	別	鬼
てろや 四七七九	同	大	波邊
福岡	福岡	福	廣谷
添	船	地	福
田	木	長	田
猪之太	岩一	安一郎	源治郎
嘉一郎	八郎	外	廣
桐生	倉	千葉	千
新宿	川名	西澤	西澤
藤生	清五郎	吉郎	吉郎
喜一			

記番號	姓名	付局所名	預人氏名
くい 二七三一	廣島	廣	島
くにに 三五三七	同	警	固
のいし 八一三	山口	山	屋
のろく 四七四五	同	阿	月
のろみ 八二五	同	安	下
のほこ 五四四	同	秋	赤羽
ていほ 二四七六	同	下	吉
ていた 二四七六	元下關郵便為替貯金管理支所	下	末永
てはな 二四七六	元下關郵便為替貯金管理支所	下	居
てにり 八二四一	同	關	岩哥
てにれ 二二三三	福岡	新長崎	清一
てにこ 三五九七	同	原	櫻
てほろ 二二三	同	枝	光
くさ 一六八三	廣島	廣	音
くせ 一六八三	同	油	井
ひい 三二五八	熊本	熊	小出
ひろ 九八五三	同	八	木戸
ひぬ 一六八四	同	代	中野七左工門
同 二〇八〇	同	人	今井
同 二六八九	同	吉	宮河
同 七六六九	同	宮	宮川
ひつ 二三三〇二	元下關郵便為替貯金管理支所	園	善吾
ひろは 二五七九	元下關郵便為替貯金管理支所	住	秀一
ひはほ 九二八	熊本	木	運藏
なは 七八九二	元下關郵便為替貯金管理支所	山	森島
ないる 七六六	大分	宮	古川
恩まん 五九九三	元郵便為替貯金管理	生	吉野
まいく 八四三	同	鹿兒島古	江
同 三四三	同	崎	津野
き 一八四	長崎	土	昌
そほと 四二九〇	同	湯	江
そな 二二六〇	佐賀	佐世保京町	池田
同 六八二八	同	牛	馬場
そちせ 一七〇九	熊本	松	芳
いいさ 九八三二	東京	深川萬年町	谷
いはむ 三二七一	同	池	大橋
いはこ 三二九六	同	布田島町	中間
いほの 三三〇	同	龜	神
いゐぬ 一九九七	同	本所押上町	細矢
いほせ 一八〇三	同	芝高輪北町	早水
いゐれ 二〇三	同	九	段
いいも 二三三一	同	小	澤
ゆろに 三〇五	山梨	木	庄
いいま 八七九八	堺玉	坂	驛原
あわこ 二七〇九	千葉	松	戸
あいこ 二二九二	千葉	森田	高橋
をた 一五六三二	元郵便為替貯金管理所	岩松	倉
を林 一五六三二	同	西澤	川名
をいま 一七五八	千葉	千	藤生
きろむ 一七七八	同	桐	清五郎
		宿	喜一

記番號	姓名	付局所名	預人氏名
ゐはそ 二四九九	栃木	宇都宮旭町	野口
きゆ 三三〇四	群馬	倉	重藏
ゐる 八九二	栃木	今	里
たれ 一五一五八	福島	郡	小島
同 六八二四二	元郵便為替貯金管理所	山	成田
たゆ 一四〇五	福島	松	大助
きろむ 一二一三	福島	桐	佐藤
れは 三三九九	茨城	土	新宿
しを 四六四五	宮城	佐	荻野
しき 二七七二	同	波	浦
しいな 四六一	同	根	白
めて 一九三一	靜岡	原	石
ぬゆ 一九三五	同	附	樋渡
めた 一九二三	同	金	見
ゆはか 七七	秋田	谷	多田
りいさ 三六四六	神奈川錢	倉	片野
ちをを 五〇七	石狩	札幌北七條	錢
三五五一	青森	青森堤町	小山内
こゐぬ 一二八一	同	青森柳原	出間
ころこ 一二八一	同	青森堤町	秋元
恩こ 七六四八	元郵便為替貯金管理所	秋	澤
恩ろら 一二五	嚴手	袋	高橋
ゐろ 四四八〇	同	盛	澤
ゐいち 二五九七	同	土	部室
ゐいゆ 一三五七	同	世田	宮川
ろくぬ 一三六六	青森	米	横澤
ゐよ 七八八	嚴手	沼宮	内
こい 一九二七八	青森	青森	柴田
ちとろ 三五三三	同	中	浦
ちろゐそ 一二三九	同	小樽	花
ちろゐ 四七一五	同	園原	臼
ちほた 五〇八〇	同	鶴岡	笠原
ちほゐ 一〇〇三	同	白	川
ちろむ 二二八〇	同	旭	内
ちろた 七七二	北見	幌	千葉
むか 四一三二	船	江	乙
むろす 一五二〇	岐阜	岩	武
むろゐ 九六二	長野	平	泊
りき 三〇九四	同	出	工藤
いろす 二一九六	神奈川	赤羽	服部
いるゐ 一六三三	東京	奈	村
同 二七	赤坂一ツ木	瓦	重治
いろこ 二七	小石川林町	井	トミ
ゐはほ 二四九九	神奈川	毛利	作次郎
ゐ 一八	石狩	新十津川	西村
いゐち 三〇	東京	立	後藤
わち 九七二	愛知	瀬	尾
ゐほか 一〇八二	新潟	柏崎閻魔町	竹内
ゐはに 五九四	岐阜	新加納	羽
ゐにて 五九八〇	東京	牛込原町一	長信
ろい 二〇七五	同	內藤新宿	大澤
いり 二二八八〇	同	麻	飯山
いいも 二二一四一	同	布	冬
あい 一〇三九八	埼玉	浦	小田切
ゐろ 八四八八	栃木	宇都	和波田野
たり 三六〇二	茨城	若	宮
れゆ 三六〇二	福島	松	橫山
ろろゐ 六二八三	石狩	旭	藤五郎
同 六二八三	同	尻	五一郎
ちほぬ 二二五九	同	菊池	松次郎
ちちち 一五四	同	川	瀧本
みろち 一五〇一	山形	左	由太郎
ゐはま 四九	嚴手	幾	松之助
こいす 二二三〇	青森	石島	金子
めはつ 一二九一	同	谷	佐藤
むすい 一四九四	靜岡	澤	龜次郎
むろい 二四二三七	不	佐藤	與五郎
わいふ 一九五三	愛知	松	圓
わく 六八五〇	同	野	才助
ちち 一三九三	同	名古屋橋町	吉
やよ 四一八三	同	上	立川
やほ 六〇一	大分	野	敏子
ほはゆ 一二五	東京橋本八丁堀	松井	勝野
いにぬ 三九二二	同	小石川竹早町	松
いほか 一三九	同	芝田村町	居
やよ 五三二二	同	久	畑林
れろゐ 一四八一	炭城	三重	耕十郎
同 一四八一	同	川	永藤
ゐろに 七四九三	大阪	踏	關
同 二八〇一	滋賀	能	吹
そちせ 九八三二	東京	八日市	田
いいさ 九八三二	同	河島	井村
いはむ 三二七一	同	敏本	附
いはこ 三二九六	同	雄	伴五郎
いほの 三三〇	同	患彦	歳
いゐぬ 一九九七	同	敏	五郎
いほせ 一八〇三	同	雄	大三
いゐれ 二〇三	同	耕	藏
いいも 二三三一	同	兵衛	平吉
ゆろに 三〇五	山梨	吉	平吉
いいま 八七九八	堺玉	郎	岩松
あわこ 二七〇九	千葉	戸	西澤
あいこ 二二九二	千葉	森田	吉郎
をた 一五六三二	元郵便為替貯金管理所	高橋	喜郎
を林 一五六三二	同	岩松	清五郎
をいま 一七五八	千葉	西澤	清一
きろむ 一七七八	同	吉郎	喜一

記番號	姓名	付局所名	預人氏名
ゐはそ 二四九九	栃木	宇都宮旭町	野口
きゆ 三三〇四	群馬	倉	重藏
ゐる 八九二	栃木	今	里
たれ 一五一五八	福島	郡	小島
同 六八二四二	元郵便為替貯金管理所	山	成田
たゆ 一四〇五	福島	松	大助
きろむ 一二一三	福島	桐	佐藤
れは 三三九九	茨城	土	新宿
しを 四六四五	宮城	佐	荻野
しき 二七七二	同	波	浦
しいな 四六一	同	根	白
めて 一九三一	靜岡	原	石
ぬゆ 一九三五	同	附	樋渡
めた 一九二三	同	金	見
ゆはか 七七	秋田	谷	多田
りいさ 三六四六	神奈川錢	倉	片野
ちをを 五〇七	石狩	札幌北七條	錢
三五五一	青森	青森堤町	小山内
こゐぬ 一二八一	同	青森柳原	出間
ころこ 一二八一	同	青森堤町	秋元
恩こ 七六四八	元郵便為替貯金管理所	秋	澤
恩ろら 一二五	嚴手	袋	高橋
ゐろ 四四八〇	同	盛	澤
ゐいち 二五九七	同	土	部室
ゐいゆ 一三五七	同	世田	宮川
ろくぬ 一三六六	青森	米	横澤
ゐよ 七八八	嚴手	沼宮	内
こい 一九二七八	青森	青森	柴田
ちとろ 三五三三	同	中	浦
ちろゐそ 一二三九	同	小樽	花
ちろゐ 四七一五	同	園原	臼
ちほた 五〇八〇	同	鶴岡	笠原
ちほゐ 一〇〇三	同	白	川
ちろむ 二二八〇	同	旭	内
ちろた 七七二	北見	幌	千葉
むか 四一三二	船	江	乙
むろす 一五二〇	岐阜	岩	武
むろゐ 九六二	長野	平	泊
りき 三〇九四	同	出	工藤
いろす 二一九六	神奈川	赤羽	服部
いるゐ 一六三三	東京	奈	村
同 二七	赤坂一ツ木	瓦	重治
いろこ 二七	小石川林町	井	トミ
ゐはほ 二四九九	神奈川	毛利	作次郎
ゐ 一八	石狩	新十津川	西村
いゐち 三〇	東京	立	後藤
わち 九七二	愛知	瀬	尾
ゐほか 一〇八二	新潟	柏崎閻魔町	竹内
ゐはに 五九四	岐阜	新加納	羽
ゐにて 五九八〇	東京	牛込原町一	長信
ろい 二〇七五	同	內藤新宿	大澤
いり 二二八八〇	同	麻	飯山
いいも 二二一四一	同	布	冬
あい 一〇三九八	埼玉	浦	小田切
ゐろ 八四八八	栃木	宇都	和波田野
たり 三六〇二	茨城	若	宮
れゆ 三六〇二	福島	松	橫山
ろろゐ 六二八三	石狩	旭	藤五郎
同 六二八三	同	尻	五一郎
ちほぬ 二二五九	同	菊池	松次郎
ちちち 一五四	同	川	瀧本
みろち 一五〇一	山形	左	由太郎
ゐはま 四九	嚴手	幾	松之助
こいす 二二三〇	青森	石島	金子
めはつ 一二九一	同	谷	佐藤
むすい 一四九四	靜岡	澤	龜次郎
むろい 二四二三七	不	佐藤	與五郎
わいふ 一九五三	愛知	松	圓
わく 六八五〇	同	野	才助
ちち 一三九三	同	名古屋橋町	吉
やよ 四一八三	同	上	立川
やほ 六〇一	大分	野	敏子
ほはゆ 一二五	東京橋本八丁堀	松井	勝野
いにぬ 三九二二	同	小石川竹早町	松
いほか 一三九	同	芝田村町	居
やよ 五三二二	同	久	畑林
れろゐ 一四八一	炭城	三重	耕十郎
同 一四八一	同	川	永藤
ゐろに 七四九三	大阪	踏	關
同 二八〇一	滋賀	能	吹
そちせ 九八三二	東京	八日市	田
いいさ 九八三二	同	河島	井村
いはむ 三二七一	同	敏本	附
いはこ 三二九六	同	雄	伴五郎
いほの 三三〇	同	患彦	歳
いゐぬ 一九九七	同	敏	五郎
いほせ 一八〇三	同	雄	大三
いゐれ 二〇三	同	耕	藏
いいも 二三三一	同	兵衛	平吉
ゆろに 三〇五	山梨	吉	平吉
いいま 八七九八	堺玉	郎	岩松
あわこ 二七〇九	千葉	戸	西澤
あいこ 二二九二	千葉	森田	吉郎
をた 一五六三二	元郵便為替貯金管理所	高橋	喜郎
を林 一五六三二	同	岩松	清五郎
をいま 一七五八	千葉	西澤	清一
きろむ 一七七八	同	吉郎	喜一

○公債當籤

愛知縣公債證書
一額面金額二万圓

保號 千圓券
五番 八番 十五枚
四〇番 四二番 一〇番
保號 五百圓券
自 三六七番 四四番 一九番
至 三六八番 五三番 二一番
保號 百圓券 三六番 二二番
自三二九七番 自三三六七番 自八六五番
至三三〇六番 至三三七六番 至三八六番
右本月二十七日抽籤ニ付キ公債元金ハ同三十日ヨリ當縣本支金庫ニ於テ仕拂フヘシ

明治四十三年六月

愛知縣

○村役場位置變更

熊毛郡三井村役場位置ヲ今般字淺原第三百六十八番地ニ變更セリ

明治四十三年六月

山口縣

○購買入札

一晒木綿 四千六百段
水年八月二十五日マテニ印刷部納
一三 極 一万貫匁
同（別口） 一万貫匁
以上本年八月十五日マテニ抄紙部納
入札保證金見積代金百分ノ五契約保證金落札代金百分ノ十（圓未滿切上ク）
右購買ス入札望ノ者ハ當部ニ就キ入札心得書契約心得書熟覽ノ上來ル七月七日午前十時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札スヘシ即時開札ス
一蠟型機（米國紐育市ブールホー會社製） 一壓 明治四十四年三月十日マテニ活版部納
入札保證金見積代金百分ノ五契約保證金落札代金百分ノ十（圓未滿切上ク）
右購買ス入札望ノ者ハ當部ニ就キ入札心得書契約心得書熟覽ノ上來ル七月十九日午前十時三十分限當部ニ入札スヘシ即時開札ス
以上契約ハ敬毛印刷局長神野勝之助擔任ス

明治四十三年六月三十日

印刷局會計部

一板 石 八千六百五枚 大藏省臨時建築部横濱支部納
入札保證金見積代價百分ノ五以上入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ當部ニ就キ入札規則契約書案及仕文書等熟覽ノ上來ル七月十五日午前十時限入札書ヲ當部ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ大藏省臨時建築部長工學博士妻木頼黄擔任ス

明治四十三年六月三十日

大藏省臨時建築部

一郡入中紙正手帶外二十點 陸軍中央幼年學校納
入札保證金見積高百分ノ五以上入札者ハ二年以來斯業ニ從事スル證明アル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ今三十日ヨリ來ル七月十四日マテ（執務時間內）ニ當部ニ於テ入札心得書契約書案及標本等ヲ熟覽シ同十五日午前九時限入札書ヲ當部ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ第一師團經理部長目正信擔任ス

明治四十三年六月三十日

第一師團經理部

器兵第三七號 修整式羅針盤 乾牌十吋 十箇
同三八號 短形羅鏡儀（七吋） 二十六箇
同三九號 同（六吋） 二十五箇
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上契約保證金請負代價百分ノ十（圓未滿切上ク）圓止ト
右入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ當部會計課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル七月七日午前十時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ水路部長中尾雄擔任ス

明治四十三年六月三十日

水路部

一石 綿 同四〇號 端舟雜鏡儀（四吋半） 五十箇
一綾木綿 一万八百米突 一「アルコール」 六百米突 三十箇
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上入札者ハ二年以來其業ニ從事スル證明書ヲ有スル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ契約書案及入札人心得書等熟覽ノ上來ル七月十四日午前十一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ入札書差出スヘシ即時同課ニ於テ開札ス
此契約ハ佐世保海軍工廠會計部長山田昌蔚擔任ス

明治四十三年六月三十日

佐世保海軍工廠會計部

第一號 十二封度軌條及附屬品共 七一哩三分 栃木縣鹽谷郡矢板町矢板停車場構內納
第二號 同 一哩八分 千葉縣安房郡由基村北小町奥山官行事業所納
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ當署ニ就キ注文書、入札及契約心得書、契約書案熟覽ノ上來ル七月七日午前十時マテニ當署ニ出頭入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ東京大林區署長林務官柳澤義一擔任ス

明治四十三年六月三十日

東京大林區署

○工事請負入札

北海道線名寄雜內間矣深停車場構內諸建物新設工事
一驛員令宿所 建坪十九坪餘
一物置湯殿便所 同五坪餘 一共同湯殿
一板塀 六尺 一井戸 二箇所
一丁號官舍 建坪三十七坪 一井戸屋形 建坪四坪餘
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右請負望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書契約書案示方書、圖面及現場等熟覽ノ上來ル七月十五日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ九州鐵道管理局長植村俊平擔任ス

明治四十三年六月三十日

九州鐵道管理局

○不能還付郵便物

去月中當管內ニ於テ還付シ能ハサル郵便物左記ノ通保管シテリ心當ノ向ハ申出テラルヘシ

明治四十三年六月

長野遞信管理局

一普通通常郵便物 通 第一種 大八 通 第二種 七七 通 第三種 二 通 第四種 三 通
一發受人不明普通小包郵便物

官報 8106 本文

右貨却ス買受望ノ者ハ来ル七月十日ヨリ同月十五日午前十時限入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札保證金ハ落札者ノ負擔ニ出願ス入札心得書契約書案及現品雛覽ノ上同月十五日午前十時限入札書ヲ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ陸軍兵器支廠長根岸五強擔任ス
明治四十三年六月三十日

姫路陸軍兵器支廠

第一號　大雨覆外二十五點
第二號　滑車外二十五點
右貨却ス買受望ノ者ハ當部ニ就キ入札心得書契約書案及現品雛覽ノ上来ル七月十五日午前十一時限入札ヲ以テ開札ス
此契約ハ陸軍運輸部本部長千秋直之擔任ス
明治四十三年六月三十日

陸軍運輸部本部

一廢具類　以下四百七十四廉　現品雛覽ハ来ル七月十三十四兩日午後一時ヨリ
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（契約保證金買受代價百分ノ十五（岡本滿切上ケ岡止トス）
右貨却ス買受望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札心得書契約書案及現品雛覽ノ上来ル七月十五日午後零時三十分限入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ（入札人ハ入札書及保證金ヲ郵送シ又ハ開札ニ立會ハサルモ差支ナシ）同日午後一時同課ニ於テ開札ス
此契約ハ横須賀海軍工廠會計部長鎌田重雄擔任ス
明治四十三年六月三十日

横須賀海軍工廠會計部

（附圖品共）
一汽船老鐵丸　一隻
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上
右貨却ス買受望ノ者ハ當部計算課及鎮海防備隊ニ就キ契約書案及入札人心得書等雛覽ノ上来ル七月二十六日午前十一時限入札保證金ヲ添ヘ入札書差出スヘシ即時同課ニ於テ開札ス
此契約ハ佐世保海軍工廠會計部長山田昌素擔任ス
明治四十三年六月三十日

現品雛覽ハ鎮海防備隊ニ於テ来ル七月十五日午後一時ヨリ午後四時マテトス

佐世保海軍工廠會計部

○商業登記

合名會社登記簿第十一冊第五〇六號
一商號　合名會社愛鶴堂
一本店　東京市淺草區永住町三十五番地
一目的　從來大塚重太郎ノ製造販賣ニ係ル長靴書長壽王長壽散及其他雛藥製造販賣ヲ以テ營業ノ目的トス
明治四十三年六月二十四日
青木文平　長堀安太郎

合名會社登記簿第十一冊第五〇七號
一商號　合名會社岡島鎔工所
一本店　東京市麹町區土手三番町三十八番地
一目的　以上各號入札保證金各自見積金高百分ノ五以上
右貨却ス買受望ノ者ハ當部ニ就キ入札心得書契約書案及現品雛覽ノ上来ル七月十五日午前十一時限入札ヲ以テ開札ス
此契約ハ陸軍運輸部本部長千秋直之擔任ス
明治四十三年六月三十日

第三號　平鍋外四十七點
第四號　厚毛布外二十一點

一設立ノ年月日
一代表社員ノ氏名
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
從來製造販賣セシ長靴書長壽王長壽散及製造器具一式此價格金二千百圓
金五百圓　金一千九百圓
同市東京市淺草區永住町三番地
同市神田元柳原町二十八番地
同市淺草區小島町三十六番地
同市神田區小島町三十八番地
同市神田區柳原町一丁目左ノ如ク入社セリ
青木文平　長堀安太郎　小林利三郎

越名五郎三郎

合名會社登記簿第十一冊第五〇八號
一商號　合名會社鈴木商店
一本店　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋五百三十番地
一目的　米穀販賣業
明治四十三年六月二十四日
一設立ノ年月日
明治四十三年六月二十四日ヨリ同六十三年六月二十三日迄
一存立ノ時期
埼玉縣北足立郡谷田村大字大谷場四十三番地
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金二千圓　無限
一金四百圓　有限
支配人登記簿第一冊第六號
一支配人ノ氏名住所　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋百二十三番地　鈴木　巳巳
一主人ノ氏名住所　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋百二十二番地　小池又三郎
一支配人ヲ置キタル場所　番地
右明治四十三年六月二十五日登記　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋五百三十番地　合資會社鈴木商店

合資會社登記簿第一冊第二六號
一商號　合資會社鈴木商店
一本店　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋五百三十番地
一目的　米穀販賣業
明治四十三年六月二十四日
一存立ノ時期　明治四十三年六月二十四日ヨリ同六十三年六月二十三日迄
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金二千圓　有限
支配人登記簿第一冊第六號
一支配人ノ氏名住所　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋百二十二番地　鈴木　巳巳藏
一主人ノ氏名住所　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋五百三十　合資會社鈴木商店
一支配人ヲ置キタル場所　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋五百三十番地
右明治四十三年六月二十五日登記　東京區裁判所板橋出張所

一肉類、魚類、蔬菜類、果實類、鳥卵類、毛皮類、毛織物類、其他冷藏スヘキ諸物品ノ保管及販賣並ニ委託販賣
二保管物及委託販賣品ヲ擔保トスル金員ノ貸附
三冷藏室ノ賃貸
四冷藏箱及冷藏ニ關スル器具並ニ水其他雛品ノ製造及販賣
五明治四十三年六月十七日左ノ者取締役ニ就任ス　東京市麹町區土手三番町三十八番地　山口誠太郎
右明治四十三年六月十七日

合名會社岡島鎔工所登記事項中左ノ如ク變更ス
一清算結了ノ年月日　明治四十三年六月二十三日
石狩石炭株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十三年六月十六日左者監査役ニ就任セリ　東京市麹町區土手三番町三十八番地　伊藤　幹一

合資會社登記簿第一冊第二六號
一商號　合資會社鈴木商店
一本店　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋五百三十番地
一目的　米穀販賣業
明治四十三年六月二十四日
一存立ノ時期　明治四十三年六月二十四日ヨリ同六十三年六月二十三日迄
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金二千圓　無限
一金四百圓　有限
支配人登記簿第一冊第六號
一支配人ノ氏名住所　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋百二十二番地　鈴木　巳巳藏
一主人ノ氏名住所　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋五百三十　合資會社鈴木商店
一支配人ヲ置キタル場所　東京府北豐島郡板橋町大字下板橋五百三十番地
右明治四十三年六月二十五日登記　東京區裁判所板橋出張所

合名會社登記簿第十一冊第九號
一商號　合名會社長岡製粉所
一本店　長岡市大工町百八十三番地

一主人ノ氏名住所　同郡同町同大字二十五番地
一支配人ヲ置キタル場所　同郡同町同大字同番地
合名會社岡部銀行登記事項中左ノ通變更ス
一社員岡部伊三郎ハ明治四十三年三月二十三日死亡ス
一出資金額ヲ金二万圓ト變更シ同日左ノ者ハ之ヲ讓受ケテ入社シタリ
一金五千圓　明治四十三年六月二十四日登記
合名會社岡部銀行
右明治四十三年六月二十四日登記

合資會社登記第十二號
一商號　合資會社北村運送店
一本店　上伊那郡赤穂村大字赤穂一万六千三百十二番地
一目的　同郡飯島村二百八十番地
一設立ノ年月日　運送貨物ノ受負及倉庫業
一代表社員ノ氏名住所出資ノ種類及責任　同郡同村同番地
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及責任　同郡同村同番地
金六百圓　有限　同郡同村同番地
金三百圓　有限　同郡同村同番地
金三百圓　有限　同郡同村同番地
金二百圓　有限　同郡同村大字赤穂一万六千三百十七番地
一存立ノ時期　明治四十三年六月二十二日
右明治四十三年六月二十二日登記

伊那區裁判所飯島出張所

株式會社登記簿第二冊三十八號
一商號　株式會社北越新報社
一本店　新潟縣長岡市坂ノ上町二丁目甲七百二十五番地第一
一目的　北越新報ヲ發行シ傍ラ印刷及附屬事業ヲ營ムモノトス
一設立ノ年月日　明治四十三年六月十五日
一資本ノ總額　金五万圓
一株ノ金額　金五十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額　金二十二圓
一會社ノ公告ヲ爲ス方法　社前ニ掲示スルモノトス
一取締役ノ氏名住所
長岡市觀光院町九百一番地乙　内田　三省
同市同町九百一番地　渡邊　藤吉
古志郡東山村大字小栗山百三十一番地　飯井　川上淳一郎
同郡東谷村大字小岡千五十一番地　久須美秀三郎
三島郡島田村大字小島谷一番戸
南蒲原郡葛巻村大字傍所乙四十八番戸　遠谷　善作
長岡市長町二丁目千七百九番地　山田　又七
同市内町八百九十四番地　高山喜代藏
無期限

一監査役ノ氏名住所
長岡市觀光院町九百一番地　内田　三省
同市同町九百一番地　渡邊　藤吉
同郡同村大字傍所乙四十八番戸　飯井　川上淳一郎
同市内町八百九十四番地　久須美秀三郎
無期限
一存立ノ時期
日出石油株式會社登記事項中長岡市内町九百一番地ノ一ノ四十二番戸ヲ左ノ如ク變更ス
一本店所在地　同市西神田一ノ四十二番戸
一清算人ノ住所
同會社登記事項中監査役清期改選ニ因リ市村富之助蛋任變更ス
右明治四十三年六月二十四日登記

合名會社登記簿第一冊九號
一商號　合名會社長岡製粉所
一本店　長岡市大工町百八十三番地

一目的
一設立ノ年月日
一代表社員ノ氏名
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
金二千圓　長岡市神田一ノ町四百九十九番地
金千圓　同市同町同番地
金千圓　同市吳服町六百九十九番地
同市大工町百八十三番地
明治五十三年六月二十一日迄
一存立ノ時期
右明治四十三年六月二十五日登記

長岡區裁判所

一合名會社設立
一商號　合名會社タハラ商會
一本店　水店大阪市南區鍛冶屋町十一番地
一目的　漆製造販賣
一設立ノ年月日　明治四十三年六月二十三日　存立時期設立ノ日ヨリ明治五十三年六月二十二日　代表社員太田圓秀
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格　金二百圓　大阪市東區內本町一丁目十五番地太田圓秀金三百圓同市南區高津三番五番地柏原太郎金五百圓　同市同區鍛冶屋町十一番地佐藤伊作
一商號　新設　櫻太郎金五百圓　同市同區內本町一丁目十五番地太田圓秀
一目的　營業所　商號使用者ノ氏名住所　大阪市南區上本町二丁目三十一番地佐藤伊作
一商號　丹政　營業種類酒類販賣　商號使用者ノ氏名住所
一設立ノ年月日　明治四十三年六月二十一日
一代表社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格　長岡市神田一ノ町四百九十九番地
金二千圓　同市同町同番地
金千圓　同市吳服町六百九十九番地
同市大工町百八十三番地
明治五十三年六月二十一日迄
一存立ノ時期
右明治四十三年六月二十五日登記

大阪區裁判所

一商號　合資會社鍋ハラ製造販賣スルヲ以テ目的トス
一目的　小泰其他穀物ノ穀類ヲ製造販賣スルヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日　明治四十三年六月二十一日
一代表社員ノ氏名　小川幸太郎　寒川　長吉
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格　長岡市神田一ノ町四百九十九番地　寒川　ミヨ
金二千圓　同市同町同番地　山川幸太郎
金千圓　同市吳服町六百九十九番地　石塚樊次郎
同市大工町百八十三番地
明治五十三年六月二十一日迄
一存立ノ時期
右明治四十三年六月二十五日登記

長岡區裁判所

一合名會社設立
一商號　合資會社北村本石炭商會　水店、射水郡伏木町大字新島町一九九番地　目的、石炭（骸炭セメント炭、粗貨類販賣及ヒ運送業　設立ノ年月日、明治四十三年六月二十日　存立時期、設立ノ日ヨリ滿二十箇年　代表社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一目的　富山縣下新川郡三日市町大字三日市村三一四三番地金千五百圓有限佐藤助九郎　同縣射水郡伏木町大字石坂町六番地金千圓無限澤井友知、同縣下新川郡三日市町大字三日市村三一六、同縣高岡市横田町三八一四番地金五百圓有限、桟井常之助、同縣射水郡伏木町大字新島町二〇四番地金六百圓無限伊井次郎、同縣同郡下關村大字廣除村五三番地金五百圓有限、桟井常之助、同縣射水郡伏木町大字石坂町四七番地金八百圓有限滝田長次郎、同縣射水郡伏木町大字新島町二〇四番地金五百圓無限、桟井常之助、同縣射水郡伏木町大字石坂町四七番地金八百圓有限滝田三次郎、同縣高岡市横田町三八一四番地金五百圓有限、桟井常之助、同縣射水郡伏木町大字新島町二〇四番地金二百圓有限、同縣射水郡伏木町大字石坂町四七番地金二百圓有限

○準禁治産宣告

東京府南葛飾郡砂村大字砂村新田千三百四十五番地　秋山又一、明治六年二月二十五日生

右ニ對シ東京府南葛飾郡砂村大字砂村新田千三百四十五番地秋山うちゑ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十三年六月二十三日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十三年六月二十七日　東京區裁判所　判事　三輪智

栃木縣河内郡田原村大字下田原十番地平民農　大森仙吉　明治四年二月二十八日生

右ニ對シ父大森仙松ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ本月二十四日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十三年六月二十七日　宇都宮區裁判所　判事　佐々木軌三

○公示催告

愛媛縣宇摩郡三島町千二百七十八番地　住　治平　申立人

一株式會社日本勸業銀行發行第八回勸業債券一通

但シ二〇九四六號二十圓券明治三十七年八月以降利札付

右債券ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ明治四十四年二月十七日午前九時迄ニ當裁判所ニ權利ヲ届出テ且ツ該債券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無效ヲ宣言スルコトアルヘシ

明治四十三年六月二十二日　東京區裁判所　判事　白井茂

明治四十三年六月二十三日　香川縣綾歌郡坂出町千九百五十六番地第一　關西食鹽株式會社清算人

當會社今般解散シタルニ付キ債權者ハ二箇月以内ニ債權ノ申出相成リタシ若シ右期間内ニ其申出ヲ爲サヽルトキハ清算ヨリ除斥セラルヘシ

○失踪宣告

福島縣安達郡二本松町字裏町一ノ十二番地平民　不在者　櫛田陸之介　慶應三年十一月十八日生

右ニ對シ同居櫛田アサノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十三年六月二十五日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十三年六月二十五日　福島（福島地方裁判所管内）區裁判所　判事　小野寺彦

○東京中央郵便局外國郵便締切時限

今三十日神戸マテ汽車便送同地ヨリ「オリエンタル」號ヲ以テ上海經由香港、印度及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

通常（普通）	中央局	三十日午後二時	市内各局
書留	同日午後二時	三十日午前十一時半	香港小包
		同上	香港爲替

○同上締切豫告

七月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

加拿陀經由歐米諸國宛	五、十三、二十六日頃締切ノ筈
シヤトル經由同	六、二十日頃締切ノ筈
タコマ經由同	十二、二十三、二十六日頃締切ノ筈
布哇經由同	十三、二十、二十七日頃締切ノ筈
ポートランド經由同	二十四日頃締切ノ筈

一西伯利經由ノ歐洲諸國及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）宛ハ毎週月、火、土曜日ニ上海香港竝ニ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ臨時差出スヲ速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船出發表

歐洲行

三島丸（新船）　七月六日正午十二時横濱出帆同九日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳盛、倫敦、アントワープ行

米國行

阿波丸　七月一日正午十二時神戸出帆同六日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行

濠洲行

日光丸　七月二十三日正午十二時横濱出帆同二十六日神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行

上海、香港行

春日丸　今三十日午前十時横濱出帆七月二日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行

因幡丸　七月一日午前十時神戸出帆門司、上海、香港行

博愛丸　同三日午前十時横濱出帆同五日神戸出帆門司、長崎、上海行

筑後丸　同七日午前十時横濱出帆同九日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行

筑前丸　同十日午前十時横濱出帆同十二日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行

弘濟丸　同十四日午前十時横濱出帆同十六日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行

韓國、北清方面行

竹島丸　七月七日午前十時神戸出帆門司、大連、芝罘、大沽、牛莊行

山東丸　同十一日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、仁川、大連、大沽、牛莊行

營口丸　同十四日午前十時神戸出帆門司、長崎、芝罘、大沽、牛莊行

淡路丸　同二十一日午前十時神戸出帆門司、大連、芝罘、大沽、牛莊行

高砂丸　同二十九日正午十二時横濱出帆四日市、神戸、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行

浦潮斯德行

立神丸　七月十七日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、元山、清津、浦潮斯德行

臺灣行

信濃丸　神戸發正午十二時（毎月三十八日）門司發午後四時（十四九日）基隆著（七二十二日）

讚岐丸　神戸發正午十二時（毎月二十一日）門司發午後四時（二十七日）基隆著（三十五日）

肥後丸　小笠原島行　七月五日午後二時横濱出帆八丈島、父島、母島（沖東漢）行

本州、北海道連絡線

毎日（午後七時半）青森發　室蘭著

（午後五時）大阪商船株式會社汽船出發表　翌朝七時半　室蘭發　翌朝五時半　青森著

韓國行

群山丸　七月二日午後一時神戸出帆門司（下關）釜山、木浦、群山、仁川行

福岡丸　同三日午前十時神戸出帆門司（下關）、仁川、鎮南浦、安東縣行

安平丸　同四日正午十二時神戸出帆宇品、門司、釜山、元山、西湖津、新浦、城津、清津行

清國行

天草丸　七月一日午前十時神戸出帆翌二日午後一時門司出帆大連行

鐵嶺丸　同四日午後四時神戸出帆翌五日午後三時門司出帆大連行

嘉義丸　同八日午前十時神戸出帆翌九日午後一時門司出帆大連行

大智丸　同九日午前十時神戸出帆門司天津行

（天津行ハ白河ヲ遡航シ居留地鴎頭ニ横付ス）

開城丸　同十一日午前十時神戸出帆翌十二日午後一時門司出帆大連行

米國行

ばなま丸　七月十二日午後横濱出帆タコマ、マニラ行

えかと丸　同十六日午前横濱出帆神戸、門司、マニラ、香港行

臺灣行

臺中丸　七月一日午後三時横濱出帆同四日正午十二時神戸出帆宇品門司、基隆、澎湖島、安平、打狗行

臺南丸　同九日正午十二時横濱出帆同十三日午前八時神戸出帆門司、長崎、基隆、安平、打狗行

さくら丸　毎月一日十五日午後二時神戸出帆門司、基隆行

笠戸丸　毎月八日、二十四日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

官報 8106 号